

■ 平成25年4月17日



# 研究だより

第35号

自治医科大学附属さいたま医療センター

## さいたま医療センターにおいて 研究を推進することの意義



センター長 百村 伸一

自治医科大学は言うまでもなく僻地に住む人々に医療を提供し、健康を守るための人材を育成するために設立された大学です。この理念にしたがい、自治医科大学の卒業生は、わが国の地域医療や保健、福祉において、計り知れない貢献をしてきました。このような自治医大の取り組みが評価されるにつれ、各大学においてもいわゆる“地域枠”を設置し学生を受け入れるところが増えてきました。おおくの地域では自治医大よりも軽度の義務が課されていることが多く、本来自治医科大学を受験するはずであった学生が地域枠に流れてしまうという現象を生んでいます。関係各位の多大な努力により幸い自治医科大学の受験者数は昨年にくらべ今年はむしろ増加しましたが、二次試験合格者の中から40名の辞退者が出るという状況もあり、今後の質の良い学生の確保においてさらに厳しい状況となることも予想されます。自治医科大学がより魅力のある大学として評価されるためには、勿論従来の理念にもとづいた医学教育を実践することが大前提となりますが、研究面でも優秀な人材を育て業績を挙げて行く必要があると思います。大学のあらたなミッションのなかみの“自治医科大学における研究ミッション”が設けられ1. 医療に貢献し、患者に還元できる研究の推進、2. 医療／保健提供体制に関する研究の推進と政策提言、3. 健康保持に関する研究の推進と地域への還元が掲げられています。

さいたま医療センターは地域における急性期医療を提供することがその重要な任務ではありますが自治医科大学の附属機関である以上、大学のミッションに沿った研究の活性化を図る必要があります。そのためにはいくつかの具体的な取り組みも必要です。

まず、さいたま医療センターに所属する職員すべてが研究の必要性を認識しなければなりません。多忙な臨床現場において研究の時間がないというのは単なるエクスキューズであり、むしろアクティビティーの高い臨床の現場であるからこそ真に医学の進歩に貢献できる研究のヒントを得ることができ、また臨床研究に必要な症例も確保しやすいと考えることもできます。自分の専門分野における学問の進歩について常にアップデートし何が研究のトレンドであるのかを把握しておく必要があります。一方、よい研究を行うには研究には経済的基盤も必要で、そのための競争的研究資金の獲得の努力もしなければなりません。大学の教員にとって競争的研究資金の獲得は義務の一つです。ただし、研究資金の獲得にもテクニックが必要で、これに関連して永井学長自らが昨年秋にさいたま医療センターに来られ、競争的研究資金の申請に関するかなり具体的なレクチャーをされました。

学会などで発表した研究内容をその都度論文にまとめて行くという日頃の姿勢も必要です。臨床研究は一人の力でできるものではなく、多くの人々によって支えられています。従って、研究発表したことを論文化することは、その人たちの協力を報いるための義務であるということもできます。若手医師には学会発表が済んでしまうとそのまま放置するのではなく極力それを論文化、できれば英文論文化することを心がけていただきたいと思います。研究の推進にはスタッフによる指導も重要です。指導的立場にある人は若手医師に研究テーマを与え、発表、そして論文化のための指導を行う義務があります。

われわれセンターとしても大学、附属病院と力を合

わせて研究の推進を行ってゆく必要があります。その取り組みの一つとして臨床データの共有化があります。すでに循環器系においてはカテーテルレポートや患者背景因子に関するデータを共有化するための具体的な作業が始まっています。将来的には大学、附属病院、さいたま医療センター、そして卒業生のネットワークを構築し、大規模な臨床試験を実行し、それを発信して行ければと思います。また、施設内での各部署の共同研究も推進して行きたいと思っています。最後に、さいたま医療センターの研究施設として循環器病

臨床医学研究所がありますが十分に活用されているとはいえません。その理由のひとつとしてアクセスが悪いこともあげられます。この点に関しては研究所が数年後には現在のBSL宿舎から、南館裏に建設予定の管理研究棟に移転することになっており、そうなる段階にアクセスがよくなりますので、今まで以上に利用していただきたいと思います。単に臨床サービスの充実した施設ではなく、研究面においても評価されるさいたま医療センターに成長することを期待したいと思います。

## 研究の成果

### 総合医学 1

#### ■ 循環器科

・平成24年未掲載分、及び平成25年1月～平成25年3月

#### 【原著論文】

- 1) 船山 大：虚血性心疾患と末梢血管疾患. 心臓 44 (11) : 1459-1462, 2012.
- 2) Yasu, T., Ueba, H., Katayama, T., Kawakami, M. : Effects of Thiazolidinediones on In-Stent Restenosis : A Review of IVUS Studies, Intravascular Ultrasound, Yasuhiro Honda (Ed.), ISBN : 978-953-307-900-4, In Tech 2012, Available from : <http://www.intechopen.com/books/intravascular-ultrasound/effects-of-thiazolidinedione-on-in-stent-restenosis-a-review-of-ivus-studies>.
- 3) Arao, K., Naito, R., Funayama, H., Ako, J., and Momomura, S : The usefulness of an intravascular ultrasound in the diagnosis of left main coronary artery dissection. Journal of Cardiology Cases (2012) 5, e133-e136.
- 4) Hori, M., Matsumoto, M., Tanahashi, N., Momomura, S., Uchiyama, S., Goto, S., Izumi, T., Koretsune, Y., Kajikawa, M Kato, M., Ueda, H., Iwamoto, K., Tajiri, M. : on behalf of the J-ROCKET AF study investigators : Rivaroxaban vs. Warfarin in Japanese Patients With Atrial Fibrillation— The J-ROCKET AF Study —Circ J. 2012 Sept ; 76 (9) : 2104-2111.
- 5) Arao, K., Ako, J., and Momomura, S. : Transient mid-ventricular ballooning : Insights

from 123I-metaiodobenzylguanidine (MIBG) scintigraphy. International Journal of Cardiology. 2012 Oct 11.

- 6) Taniguchi, Y., Sakakura, K., Wada, H., Sugawara, Y., Funayama, H., Kubo, N., Momomura, S., and Ako, J : Contrast induced exacerbation of renal dysfunction in the adovanced chronic kidney disease. Cardiovasc Interv and Ther. 2012 Nov 8.
- 7) Arao, K., Fujiwara, T., Sakakura, K., Wada, H., Sugawara, Y., Suga, C., Ako, J., Ishikawa, S., and Momomura, S. : Hyponatremia as a Predictor for Worsening Heart Failure in Patients Receiving Cardiac Resynchronization Therapy. Circulation Journal 2012 Dec 25 ; 77 (1) : 116-22.
- 8) Hirata, K., Kojima, I., Momomura, S. : Noninvasive estimation of central blood pressure and the augmentation index in the seated position : a validation study of two commercially available methods. Journal of Hypertension 2012 Dec 11.
- 9) Takagi, Y., Yasuda, S., Takahashi, J., Tsunoda, R., Ogata, Y., Seki, A., Sumiyoshi, T., Matsui, M., Goto, T., Tanabe, Y., Sueda, S., Sato, T., Ogawa, S., Kubo, N., Momomura, S., Ogawa, H., Shimokawa, H. ; Japanese Coronary Spasm Association. : Clinical implications of provocation tests for coronary artery spasm : safety, arrhythmic complications, and prognostic impact : Multicentre Registry Study of the Japanese Coronary Spasm Association. Eur Heart J. 2013 Jan ; 34 (4) : 258-67.

#### 【著書・総説】

- 1) 須賀 幾：器質的心疾患に合併した致死的心室性

不整脈のトータル・マネージメント～植込み型徐細動器 (ICD) の適応と実践～ Medical Practice (文光堂) 2012 Vol.29 No.10 1719-1727.

- 2) 平田浩三, 百村伸一: 臓器障害を合併するときの薬物療法についての疑問 レジデントノート第一章 4 31-39 2012 (羊土社)

#### 【学会発表】

- 1) Hoshino, H., Funayama, H., Yoshioka, T., Ugata, Y., Taniguchi, Y., Naito, R., Arao, K., Ako, J., Ishikawa, S., Kawakami, M., and Momomura, S.: Higher Levels of Local Interleukin-8 in ACS Patients with Ruptured Plaque: An Optical Coherence Tomography Study. The 76th annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Fukuoka, March 16-18, 2012 (Circ. J. 74 (suppl) I: 2012).
- 2) 船山 大: FD-OCT 第40回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会アフタヌーンセミナー, 東京, 2012年5月12日.
- 3) 梅本富士, 上羽洋人, 阿古潤哉, アランチェート, 川上正舒, 百村伸一. エゼチマイブによるコレステロール再吸収抑制による動脈硬化形成性抑制効果の検討. 第16回日本適応医学会学術集会, 東京, 2012年6月9日. (適応医学16 (1): 17, 2012)
- 4) 山本真吾, 和田 浩, 坂倉建一, 赤羽朋博, 池田奈保子, 片山卓志, 荒尾憲司郎, 平原大志, 船山大, 須賀 幾, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 重症心不全への薬物コントロールに薬物療法・非薬物療法の協調介入が奏功した一例 第226回日本循環器学会関東甲信越地方会, 東京ステーションコンファレンス, 2012年12月1日.
- 5) 百村伸一: 利尿薬治療の新しい展開 第114回日本循環器学会近畿地方会ランチョンセミナー, 大阪, 2012年12月15日.
- 6) 吉田奈々絵, 山田容子, 平原大志, 和田 浩, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 突然死の家族歴を有しshort-coupled variant of torsade de pointesと考えられた若年女性の一例 第227回日本循環器学会関東甲信越地方会, 東京ステーションコンファレンス, 2013年2月9日.
- 7) Ueba, H., Shiomi, M., Brines, M., Yamin, M., Ako, J., Momomura, S., Cerami, A., Kawakami, M. Suppression of coronary atherosclerosis by a helix B surface peptide, a nonerythropoietic tissue-protective compound derived from erythropoietin. The 77th Annual Scientific

Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama, March 15, 2013.

#### 【研究会】

- 1) 和田 浩: 肺高血圧症の早期診断と治療について循環器医の立場から アクテリオン社内講演, さいたま, 2013年1月17日.
- 2) 平田浩三: ARBの次の一手はCCBか利尿薬か? —CCBの立場から—Hypertension Forum ~ ARB/利尿薬 vs ARB/CCB特別講演, さいたま, 2013年1月22日.
- 3) 阿古潤哉: 心血管イベント抑制のための糖尿病管理—循環器専門医の立場から— DM Forum Cardiologist, さいたま, 2013年1月26日.
- 4) 百村伸一: 心不全における呼吸のゆらぎ 第9回京滋心臓リハビリテーション研究会, 京都, 2013年1月26日.
- 5) 宇賀田裕介, 平野雄大, 平原大志, 和田 浩, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 42歳と若年で急性非代償性心不全を発症した一例 第7回埼玉急性心不全フォーラム, さいたま, 2013年1月31日.
- 6) 鶴巻良允, 和田 浩, 池田奈保子, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 空胞変性の心筋病理像を呈する肥大型心筋症の一例 hANPフォーラム, 東京, 2013年3月2日.
- 7) 平田浩三: 中心血圧と高血圧治療 東大宮小規模勉強会, さいたま, 2013年3月5日.
- 8) 阿古潤哉: 心血管イベント抑制のための糖尿病管理—食後血糖管理の重要性— Post Prandial Forum ~心血管イベント予防を考える~ さいたま, 2013年3月5日.
- 9) 山本真吾, 和田 浩, 坂倉建一, 山田容子, 池田奈保子, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 完全大血管転位症Senning術後に肺高血圧を合併した34歳男性 第1回埼玉成人先天性心疾患研究会, さいたま, 2013年3月27日.

#### 【その他】

- 1) 阿古潤哉: 将来におけるPCI後の最適な抗血小板療法の在り方を考える Pharma Medica Vol.30 No.12別刷 (メディカルレビュー社) (対談)

### ■ 消化器科

#### ①学会、講演会、研究会への出席、発表の日程、概要 (2012年12月～2013年2月)

- 1) 上原健志, 岩城孝明, 宮谷博幸, 大竹はるか, 吉川修平, 新藤雄司, 山中健一, 池田正俊, 東海浩

- 一、牛丸信也, 松本吏弘, 浅野岳晴, 高松徹, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 吉田行雄: 診断鑑別が困難であったgroove腓癌の一例. 第322回日本消化器病学会関東支部例会 2012.12.1 東京
- 2) 新藤雄司, 牛丸信也, 吉川修平, 大竹はるか, 上原健志, 浦吉俊輔, 山中健一, 池田正俊, 東海浩一, 浅野岳晴, 松本吏弘, 高松徹, 福西昌徳, 岩城孝明, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄: 腸閉塞症状を呈し大腸癌との鑑別を要した多発結腸憩室炎の1例. Progress of Digestive Endosc 2012; 82 (1): 97 第95回日本消化器内視鏡学会関東地方会2012.12.8 東京
- 3) 浅野岳晴: 腹部エコーを用いた内臓脂肪量測定技術の開発 第6回システム疾患生命科学による先端医療技術開発シンポジウム 2013.2.8 東京
- 4) 新藤雄司: 大腸狭窄の1例. 第38回埼玉大腸疾患研究会 2013.2.16 さいたま市
- 5) 浦吉俊輔: 周期的な発熱, 腹痛の1例. 第44回AYOカンファレンス 2013.2.21 さいたま市

## ②原著その他論文(2012年12月～2013年2月)

- 1) Iwaki T, Miyatani H, Yoshida Y, Okochi T, Tanaka O, Adachi H: Secondary aortoduodenal fistula without gastrointestinal bleeding directly detected by CT and endoscopy. *Radiology Case Reports*. 2012; 7: 774
- 2) Matsumoto S, Miyatani H, Yoshida Y: Ulcerative Colitis: Comparison Between Elderly and Young Adult Patients and Between Elderly Patients with Late-Onset and Long-Standing Disease. *Dig Dis Sci*. 2013 Jan 11. [Epub ahead of print]

## ■ 呼吸器科

平成25年1月～25年6月

### 学会参加

- 1) 日本結核病学会 2013/3/28-29 千葉
- 2) 日本内科学会 2013/4/12-15 東京
- 3) 日本呼吸器学会 2013/4/19-21 東京
- 4) 日本アレルギー学会春季学術大会 2012/5/11-12 横浜

### 原著

- 1) K Komiyama, K Kobayashi, S Minezaki, F Kotajima, A Sutani, T Kasai, K Mori, E Hoshi, N Takayanagi, S Koyama, K Eguchi, M Nakayama

and K Kikuchi. Kanto Respiratory Disease Study Group. Phase I/II trial of a biweekly combination of S-1 plus docetaxel in patients with previously treated non-small cell lung cancer (KRSG 0601). *Br J Can*. 107: 1474-1480, 2012

- 2) Yasutaka Watanabe, Shinichiro Koyama, Masato Moriguchi, Chihiro Miwa, Mamoru Shiraiishi, Motoko Nomura, Mituhiro Nokubi, Chihiro Terai and Yoshinori Kawabata. Rapidly progressive respiratory failure in mixed connective tissue disease: Report of an autopsy case. *Intern Med* 51: 3415-3419, 2012

### 著書総説

- 1) 三輪千尋, 小山信一郎. IV. 連携して痛みをコントロールする38. 呼吸器疾患を見逃さないコツはなんですか? 運動器の傷みをとる・やわらげる 編集 宗圓聰, 紺野慎一, p213-214, 2012
- 2) 渡辺恭孝, 小山信一郎, 工藤史明, 三輪千尋, 渡辺珠美, 石井彰, 菅原斉, 大河内知久, 田中修, 蛭田昌宏, 土橋洋, 山田茂樹. CPC. 頭痛・精神症状で発症し、診断に苦慮した肺腺癌原発癌性髄膜炎の1剖検例. *THE LUNG perspectives* 20 (2): 2-7, 2012
- 3) 小山信一郎. 呼吸生理学と呼吸不全の病態生理. (社) 埼玉県臨床工学技士会会誌 25: 秋号6, 2012

### 学会・地方会・研究会発表

- 1) 小山信一郎. Fungal Infection Forum. Closing remarks ～本邦発信のデータを踏まえて～ 大宮 2012/07/18
- 2) 小山信一郎. 第17回3学会合同呼吸療法士認定講習会 2012/08/26 東京 講師
- 3) 小山信一郎. さいたま市薬剤師会研修会 2012/09/11 さいたま 講師
- 4) 小山信一郎. 第2回呼吸治療専門臨床工学技士資格取得指定講習会 東京 2012/09/29 講師
- 5) 小山信一郎. 喘息・COPDフォーラム～急性増悪について～ 2012/10/07 さいたま 演者、座長
- 6) 小山信一郎. 大宮医師会主催 平成24年度第一回肺がん検診症例検討会. 2012/11/1、さいたま、演者
- 7) 小山信一郎. さいたまザークリー座談会. 2012/11/2 さいたま パネリスト
- 8) 小山信一郎. 平成24年度新型インフルエンザの診療に関する研修 2012/11/4 東京

- 9) 岩井悠希、渡辺恭孝、白石守、小山信一郎、川上務。興味ある経過をたどったマイコプラズマ肺炎の1例」第12回埼玉呼吸器感染症研究会 2012/11/8 埼玉
- 10) 小山信一郎。「生活主観病と併存症としての生活習慣病」生活習慣病・COPDフォーラム 2012/12/13 埼玉 演者
- 11) 白石守、渡辺恭孝、岩井悠希、野村基子、三輪千尋、小山信之、小山信一郎。COPDに対して $\beta$ ブロッカーを使用した2例の検討。第15回関東COPD研究会。2013/02/22 さいたま
- 12) 野村基子、渡辺恭孝、白石守、岩井悠希、三輪千尋、小山信之、小山信一郎。広範な大胸筋浸潤をきたした悪性胸膜中皮腫の一例。第203回日本呼吸器学会関東地方会。2013/02/23 東京

#### ラジオ放送

- 1) 小山 信一郎。ラジオNIKKEI ドクターサロン「SMART療法とは」 2013/03/06 放送

## ■ 内分泌代謝科

#### 原著論文

- 1) Saito T, Murata M, Otani T, Tamemoto H, Kawakami M, Ishikawa S : Association of subcutaneous and visceral fat mass with serum concentrations of adipokines in subjects with type 2 diabetes mellitus. *Endocr J* 59 (1) : 39-45, 2012.
- 2) Asano T, Aoki Am Sasaki M, Ikoma A, Toyoshima H, Kawakami M, Fujisawa I, Ishikawa S : Central diabetes insipidus and hypothalamic type of hypopituitarism associated with atypical location of Rathke's cleft cyst. *Intern Med* 51 (2) : 189-194, 2012.
- 3) Muneyuki T, Nakajima K, Aoki A, Yoshida M, Fuchigami H, Munakata H, Ishikawa S, Sugawara H, Kawakami M, Momomura S, Kakei M : Latent associations of low amylase with decreased plasma insulin levels and insulin resistance in asymptomatic middle-aged adults. *Cardiovasc Diabetol* 11 : 80, 2012.
- 4) Asano T, Aoki A, Sasaki M, Ikoma A, Kakei M, Kawakami M, Ishikawa S : Hyponatremia is the valuable manifestation for initiating diagnosis of hypopituitarism in elderly. *Endocr J* 59 (11) : 1015-1020, 2012.
- 5) Aoki A, Murata M, Asano T, Ikoma A, Sasaki M,

- Saito T, Otani T, Jinbo S, Ikeda N, Kawakami M, Ishikawa S : Prompt increases in retinol-binding protein 4 and endothelial progenitor cells during acute exercise load in diabetic subjects. *Endocr J* 59 (12) : 1085-1091, 2012.
- 6) Murata M, Tamemoto H, Otani T, Jinbo S, Ikeda N, Kawakami M, Ishikawa S : Endothelial impairment and bone marrow-derived CD34<sup>+</sup>/133<sup>+</sup> cells in diabetic patients with erectile dysfunction. *J Diabetes Invest* 3 (6) : 526-533, 2012.
- 7) Arao K, Fujiwara T, Sakakura K, Wada H, Sugawara Y, Suga C, Ako J, Ishikawa S, Momomura S : Hyponatremia as a predictor for worsening heart failure in patients receiving cardiac resynchronization therapy. *Circ J* 77 (1) : 116-122, 2013.
- 8) Aoki A, Murata M, Asano T, Ikoma A, Sasaki M, Saito T, Otani T, Jinbo S, Ikeda N, Kawakami M, Ishikawa S : Association of serum osteoprotegerin with vascular calcification in patients with type 2 diabetes. *Cardiovasc Diabetol* 12 : 11, 2013.

#### 学会発表

- 1) 青木厚、山田穂高、浅野智子、生駒亜希、佐々木正美、豊島秀男、加計正文、石川三衛、川上正舒：高血糖時の心電図にて広範な陰性T波を認めたバセドウ病と1型糖尿病の合併例 第49回日本糖尿病学会関東甲信越地方会 2012年1月21日 東京都
- 2) 山田穂高、佐々木正美、崎山快夫、大塚美恵子、浅野智子、青木厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：少量ステロイドパルスが有効であった有痛性糖尿病性筋萎縮症の1例 第49回日本糖尿病学会関東甲信越地方会 2012年1月21日 東京都
- 3) 鈴木潤、青木厚、山田穂高、生駒亜希、佐々木正美、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：統合失調症患者にみられたペットボトル症候群の1例 第49回日本糖尿病学会関東甲信越地方会 2012年1月21日 東京都
- 4) 佐々木正美、山田穂高、浅野智子、青木厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：心タンポナーデにより発見された高齢者甲状腺機能低下症の1例 第21回臨床内分泌代謝Update 2012年1月27-28日 浜松市／日本内分泌学会雑誌 87 (3) : 939, 2011.

- 5) 山田穂高、浅野智子、佐々木正美、青木厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：PET-CTで偶然発見されたプロラクチノーマの1例 第21回臨床内分泌代謝Update 2012年1月27-28日 浜松市／日本内分泌学会雑誌 87 (3)：988, 2011.
- 6) 石川三衛：教育講演 低Na血症の病態と治療 第12回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 2012年3月23-24日、さいたま市
- 7) 浅野智子、山田穂高、青木厚、村田美保、生駒亜希、佐々木正美、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：服薬コンプライアンス不良から甲状腺クリーゼに至った1例 第12回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 2012年3月23-24日、さいたま市
- 8) 吉田昌史、大和志保、中田正範、出崎克也、石川三衛、矢田俊彦、川上正舒、加計正文：隣B細胞グルコース刺激時のCa依存性Kv2.1チャネルによる分泌調節 第12回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 2012年3月23-24日、さいたま市
- 9) 浅野智子、山田穂高、青木厚、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：特異な下垂体前葉機能障害、中枢性尿崩症を呈したラトケ嚢胞の検討 第109回日本内科学会総会講演会 2012年4月13-15日 京都市／日本内科学会雑誌 101 (Suppl.)：177, 2012.
- 10) Asano T, Yamada H, Aoki A, Sasaki M, Ikoma A, Ishikawa S：Clinical features of inferior and lateral invasive expansion of GH-producing adenoma. 15<sup>th</sup> International Congress of Endocrinology May 5-9, 2012, Florence, Italy
- 11) 石川三衛：教育講演 低Na血症からみたSIADH 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市／日本内分泌学会雑誌 88 (1)：146, 2012.
- 12) 石川三衛：クリニカルアワー「バソプレシンと疾患」浮腫性疾患とバソプレシン 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市／日本内分泌学会雑誌 88 (1)：228, 2012.
- 13) 浅野智子、山田穂高、青木厚、村田美保、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：下垂体機能低下症患者における動脈硬化症の検討 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市／日本内分泌学会雑誌 88 (1)：258, 2012.
- 14) 生駒亜希、山田穂高、吉田昌史、木本瑞穂、浅野智子、青木厚、村田美保、齊藤智之、佐々木正美、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：異所性ACTH症候群5例の臨床的特徴と予後 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市／日本内分泌学会雑誌 88 (1)：263, 2012.
- 15) 山田穂高、柴野智毅、佐々木正美、浅野智子、青木厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：チアマゾール治療再開後に無顆粒球症を発症し、重篤な敗血症を併発したBasedow病の1手術例 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市／日本内分泌学会雑誌 88 (1)：285, 2012.
- 16) 佐々木正美、山田穂高、浅野智子、青木厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：2型糖尿病患者における血中酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ骨型アイソザイム (TRACD-5b) 濃度の検討 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市／日本内分泌学会雑誌 88 (1)：296, 2012.
- 17) 眞山英徳、青木厚、山田穂高、浅野智子、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：下垂体クリーゼで発見された頭蓋咽頭腫の1例 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市／日本内分泌学会雑誌 88 (1)：314, 2012.
- 18) 秋本知則、山田穂高、浅野智子、青木厚、生駒亜希、佐々木正美、豊島秀男、加計正文、草鹿元、川上正舒、石川三衛：下垂体前葉機能低下症と仮面尿崩症、さらにたこつほ型心筋症を併発したラトケ嚢胞の1例 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市／日本内分泌学会雑誌 88 (1)：319, 2012.
- 19) 村田美保、青木厚、浅野智子、吉田昌史、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、川上正舒、石川三衛：2型糖尿病における血中osteocalcinと動脈硬化—腎症との関係 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市／日本内分泌学会雑誌 88 (1)：325, 2012.
- 20) 青木厚、村田美保、山田穂高、浅野智子、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：2型糖尿病患者の頸動脈石灰化におけるオステオプロテジェリンの役割 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市／日本内分泌学会雑誌 88 (1)：363, 2012.
- 21) 吉田昌史、中田正範、大和志保、出崎克也、石川三衛、川上正舒、矢田俊彦、加計正文：隣B細胞グルコース刺激活動電位形成時のCa依存性Kv2.1チャネルの役割 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl.

- 1) : S92, 2012
- 22) 青木厚、村田美保、山田穂高、吉田昌史、木本瑞穂、浅野智子、齊藤智之、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、石川三衛：2型糖尿病の頸動脈石灰化進展と血清オステオプロテジェリンの関係 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S180, 2012
- 23) 生駒亜希、山田穂高、吉田昌史、木本瑞穂、浅野智子、青木厚、村田美保、齊藤智之、豊島秀男、石川三衛、川上正舒：2型糖尿病における混合型インスリン製剤（ノボラピッド70ミックス）の使用経験 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S192, 2012
- 24) 佐々木正美、山田穂高、浅野智子、青木厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、石川三衛、川上正舒：DPP4阻害薬シタグルプチンからビルダグリプチンへの切り替え症例の検討 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S200, 2012
- 25) 三橋美幸、大塚潔、茂木さつき、浅野智子、村田美保、生駒亜希、佐々木正美、為本浩至、豊島秀男、河野幹彦、石川三衛、川上正舒：カラー表示を用いた血糖自己測定器による糖尿病患者の血糖管理：行動変容と意識変化に関する調査 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S202, 2012
- 26) 浅野智子、山田穂高、青木厚、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、石川三衛：当センターにおいて診断された緩徐進行1型糖尿病の解析 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S221, 2012
- 27) 齊藤智之、伊村恵美子、浅野智子、青木厚、村田美保、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、河野幹彦、加計正文、川上正舒、石川三衛：降圧目標未達の糖尿病併高血圧患者へのロサルタン／ヒドロクロロチアジド合剤、ロサルタン高用量投与の降圧、腎保護効果 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S221, 2012
- 28) 大塚潔、三橋美幸、堀口久光、生駒亜希、為本浩至、村田美保、豊島秀男、河野幹彦、石川三衛、川上正舒：2型糖尿病患者におけるリラグルチドの血糖降下作用と副作用：満足度の評価 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S149, 2012
- 29) 山田穂高、村田美保、浅野智子、青木厚、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、川上正舒、石川三衛：当院における劇症1型糖尿病の報告：一過性の心筋障害を認めた2例 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S227, 2012
- 30) 齊藤智之、浅野智子、青木厚、佐々木正美、生駒亜希、石川三衛：ARB内服中糖尿病患者へのロサルタン／ヒドロクロロチアジド合剤、ロサルタン高用量投与の降圧、腎保護効果 第55回日本腎臓学会総会 2012年6月1-3日 横浜市／日本腎臓学会雑誌 54 (3) : 267, 2012.
- 31) 金内則子、浜口佳和、河野幹彦、石川三衛、川上正舒：Prader-Willi症候群の過食の実態 第30回日本肥満治療学会 2012年6月29-30日、東京都
- 32) 三橋美幸、大塚潔、河野幹彦、生駒亜希、石川三衛、川上正舒：BMI別にみたインスリン治療患者における臨床データの比較検討 第30回日本肥満治療学会 2012年6月29-30日、東京都
- 33) 青木厚、山田穂高、吉田昌史、浅野智子、生駒亜希、佐々木正美、豊島秀男、加計正文、河野幹彦、石川三衛、川上正舒：2型糖尿病患者における急性運動負荷による血清RBP4および血管内皮前駆脂肪の反応性に対する肥満の影響 第30回日本肥満治療学会 2012年6月29-30日、東京都
- 34) 生駒亜希、浅野智子、青木厚、佐々木正美、豊島秀男、加計正文、石川三衛、川上正舒：リラグルチド投与で体重減少を維持できたPrader-Willi症候群の1例 30回日本肥満治療学会 2012年6月29-30日、東京都
- 35) Ikoma A, Yamada H, Yoshida M, Asano T, Aoki A, Kusaka I, Toyoshima H, Kakei M, Ishikawa S : Usefulness of the biphasic insulin aspart 70 in the patients with type 2 diabetes mellitus. Ninth West Pacific Conference of International Diabetes Foundation, November 24-27, 2012, Kyoto.
- 36) Asano T, Yamada H, Aoki A, Kusaka I, Ishikawa S : Clinical features of slow progressive insulin dependent diabetes in our hospital. Ninth West Pacific Conference of International Diabetes Foundation, November 24-27, 2012, Kyoto.
- 37) 船崎俊介、吉田昌史、山田穂高、浅野智子、青木厚、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、加計正文、石川三衛：抗甲状腺薬治療中に多関節痛をきたしたBasedow病の1例 第13回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 2012年12月14-15日 宇都宮市
- 38) 佐々木正美、山田穂高、吉田昌史、浅野智子、青

- 木厚、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、加計正文、石川三衛：ステロイド治療が奏効したリンパ球性下垂体前葉炎の1例 第22回臨床内分泌代謝 Update 2013年1月18-19日 さいたま市/日本内分泌学会雑誌 88 (3) : 1014, 2012.
- 39) 平松綾子、浅野智子、山田穂高、吉田昌史、青木厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、石川三衛：長期にわたり多尿多飲を放置して水腎症をきたした中枢性尿崩症の1例 第22回臨床内分泌代謝 Update 2013年1月18-19日 さいたま市/日本内分泌学会雑誌 88 (3) : 1041, 2012.
- 40) 山下武志、吉田昌史、山田穂高、浅野智子、菅原斉、加計正文、石川三衛：胃動脈瘤破裂後にSIADHをきたした1例 第22回臨床内分泌代謝 Update 2013年1月18-19日 さいたま市/日本内分泌学会雑誌 88 (3) : 1052, 2012.
- 著書・総説**
- 1) 石川三衛：トルバプタン 呼吸と循環 60 (1) : 79-84, 2012.
- 2) 齊藤智之、石川三衛：甲状腺疾患 IN：治療薬・治療指針2012 梶井英治監修 羊土社、東京、pp.432-435, 2012.
- 3) 石川三衛：腎性尿崩症 日本臨床 新領域別症候群シリーズ 17 : 850-855, 2012.
- 4) 石川三衛：尿崩症 IN：今日の治療指針2012 山口徹、北原光夫、福井次矢総編集 医学書院、東京、p.667, 2012
- 5) 石川三衛：水代謝調節の異常とバソプレシン 腎と透析 72 (12) : 255-259, 2012.
- 6) 石川三衛：尿崩症 IN：経静脈治療オーダーマニュアル 小川 龍編集 メディカルレビュー社、大阪 pp. 334-337, 2012,
- 7) 石川三衛：尿崩症 IN：病気と薬パーフェクトBOOK 2012 南山堂、東京 p.534-538, 2012.
- 8) 石川三衛：どうして低ナトリウム血症が問題となるのか 臨床透析 28 (4) : 482-484, 2012.
- 9) 藤田敏郎、Goldsmith SR、石川三衛：Vasopressin antagonism 一心不全とバソプレシン Pharma Medica 30 (4) : 104-109, 2012.
- 10) 山田穂高、石川三衛：中枢性尿崩症 IN：下垂体疾患マニュアル 平田結喜緒、山田正三、成瀬光栄編集 診断と治療社、東京 pp.232-234, 2012.
- 11) 石川三衛：バソプレシン (AVP) の異常とその治療—AVP製剤、AVP受容体拮抗薬 日本内科学会雑誌 101 (4) : 993-999, 2012.
- 12) 藤田敏郎、石川三衛、梅村敏：バソプレシン受容体拮抗薬における実臨床 Pharma Medica 30 (5) : 86-93, 2012.
- 13) 石川三衛：抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (SIADH) 内科 109 (6) : 1266-1268, 2012.
- 14) 石川三衛：多尿 IN：腎疾患治療マニュアル 2012-2013 (腎と透析 72 (Suppl.))、東京医学社、東京 pp.61-63, 2012.
- 15) 山田穂高、石川三衛：尿崩症 診断と治療 100 (7) : 1151-1154, 2012.
- 16) 石川三衛：バソプレシン 腎と透析 73 (1) : 27-32, 2012.
- 17) 石川三衛：抗利尿ホルモン不適切分泌症候群 (SIADH) 日本臨床 (増刊号) 医薬品副作用学 (第2版) 715-719, 2012.
- 18) 石川三衛：鉍質コルチコイド反応性低Na血症 ホルモンと臨床 59 (5) : 489-492, 2012.
- 19) 山田穂高、石川三衛：SIADH からだの科学 275 : 51-53, 2012.
- 20) 石川三衛：SIADH IN：内分泌代謝専門医ガイドブック改訂第3版 成瀬光栄、平田結喜緒、島津章編集 診断と治療社、東京 pp.122-125, 2012.
- 21) 石川三衛：抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 IN：稀少疾患/難病の診断・治療と製品開発技術情報協会、東京 pp.867-869, 2012.
- 22) 石川三衛：低Na血症から見たSIADH 日本医事新報 No. 4629 : 69-74, 2013.
- 23) 石川三衛：バソプレシンと水代謝調節の異常 IN：Annual Review腎臓 富野康日己、柏原直樹、成田一衛編集 中外医学社、東京 pp.34-39, 2013.
- 24) 石川三衛：バソプレシン分泌不適切症候群 (SIADH) IN：今日の治療指針 2013 山口徹、北原光夫、福井次矢総編集 医学書院、東京 pp.690-691, 2013.
- その他**
- 1) 浅野智子、青木厚、佐々木正美、生駒亜希、石川三衛：特異な下垂体前葉機能障害、中枢性尿崩症を呈したラトケ嚢胞の2症例 厚生労働省難治性疾患克服研究事業間脳下垂体機能障害に関する調査研究班平成23年度班会議 2012年1月6日 東京都
- 2) 山田穂高、佐々木正美、浅野智子、青木厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、川上正舒、石川三衛：利尿薬配合降圧薬によると考えられた高齢者低Na血症の3症例の検討 第22回バソプレシン研究会 2012年1月7日 東京都
- 3) 石川三衛：サムスカが適した症例を議論する サムスカ1周年記念全国講演会 2012年1月14日



東京都

- 4) 石川三衛：心不全とバソプレシン 旭川サムスカ記念講演会 2012年1月18日 旭川
- 5) 石川三衛：心不全とバソプレシン 第1回心不全最前線治療研究会 2012年2月16日 大阪市
- 6) 石川三衛：水代謝異常と心不全 水利尿を考える会 2012年3月10日 千葉市幕張
- 7) 石川三衛、浅野智子：特異な下垂体前葉障害、中枢性尿崩症を呈したラトケ嚢胞の2症例 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服事業間脳下垂体機能障害に関する調査研究 平成23年度総括分担研究報告書 pp.28-34, 2012
- 8) 浅野智子、青木厚、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、加計正文、石川三衛：当院で経験したacromegaly 15例の画像所見 第9回埼玉下垂体懇話会 2012年4月4日 さいたま市
- 9) 石川三衛：糖尿病の管理：簡単で、たいへんなこと 自治医大さいたま医療センターだより 第31号 2012年4月1日発行
- 10) 石川三衛：水利尿不全におけるAVP-AQP2連関 第1回氷川フォーラム 2012年5月19日 さいたま市
- 11) 浅野智子、山田穂高、青木厚、生駒亜希、草鹿育代、石川三衛：5歳で発症し以降35年間無治療で経過した中枢性尿崩症の1例 第34回さいたま内分泌代謝研究会 2012年6月2日 さいたま市
- 12) 石川三衛：糖尿病の診断と治療—Update 春日部薬剤師会講演会 2012年6月11日 春日部市
- 13) 石川三衛：特別講演 水電解質異常に絡む下垂体ホルモン 第6回鹿児島間脳下垂体疾患研究会 2012年6月15日 鹿児島市
- 14) 石川三衛：水代謝異常とバソプレシン受容体拮抗薬の今後 Tokyo Tolvaptan Forum 講演会 2012年7月9日 東京都
- 15) 石川三衛：水電解質代謝とその異常：分かりやすい考え方 奈良ノバルティス学術フォーラム 2012年8月2日 天理市
- 16) 石川三衛：先端巨大症 日刊現代 2012年9月4日号
- 17) 齊藤智之、浅野智子、青木厚、生駒亜希、草鹿育代、石川三衛：ARB内服中糖尿病患者へのロサルタン/ヒドロクロロチアジド合剤、ロサルタン高用量投与の降圧、腎保護効果 第9回糖尿病関連疾患研究会 2012年9月12日 さいたま市
- 18) 青木厚、間瀬卓頭、吉田昌史、山田穂高、浅野智子、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、石川三衛：腫瘍の同定が困難であったインスリノーマの症例

第32回埼玉糖尿病症例検討会 2012年9月14日 さいたま市

- 19) 浅野智子、山田穂高、青木厚、生駒亜希、草鹿育代、石川三衛：当院で経験した先端巨大症の画像所見の検討 第8回アクロメガリーフォーラム 2012年10月6日 大阪市
- 20) 青木厚、村田美保、山田穂高、吉田昌史、浅野智子、生駒亜希、草鹿育代、豊島秀男、加計正文、石川三衛：2型糖尿病患者の頸動脈石灰化におけるosteoprotegerinおよびfibroblast-growth factor 23の役割 第35回北関東内分泌糖尿病セミナー 2012年11月10日 東京都
- 21) 石川三衛：バソプレシンと水利尿不全—とくに心不全を中心に 第54回西胆振循環器談話会 2012年11月21日 室蘭市
- 22) 石川三衛：バソプレシンによる臓器負荷：水利尿不全の病態と臨床像 興和新薬社内研修会 2012年12月3日 さいたま市
- 23) 石川三衛：バソプレシンと疾患：水利尿不全の病態と臨床像 リリー社内研修会 2012年12月13日 神戸市
- 24) 石川三衛：水利尿不全 低Na血症の病態と治療 西濃バソプレシン勉強会 2012年12月19日 大垣市

## ■ 血液科

2012年4月から2013年3月の間に発表した研究成果をご紹介します。多くは臨床研究ですが、BSL棟での基礎研究に基づく論文も含まれています。以下のリストに列挙した27編の英文論文はいずれも血液科のメンバーがかかわった論文ですが、その中で当科が研究の中心となっているのは20編です。これらの論文からいくつかを取り上げて紹介します。

8番の論文は高齢者(70歳以上)急性骨髄性白血病(AML)に対して強力な化学療法を行うことが予後を改善するかどうかについて、多施設の症例データを統合して後方視的に解析した論文です。当然、全身状態の悪い患者さん、より高齢の患者さんで強力化学療法は回避される傾向があるでしょうから、単純な比較はバイアスを生じます。そこで、propensity score(傾向スコア)を用いた層別化解析およびマッチドペア解析を行いました。Propensity scoreについて少し説明を加えます。一般的な診療現場では、ある治療を行うかどうかの判断は様々な背景因子を参考にして決定されます。そこで、ある治療が行われたかどうかを従属変数、他の様々な背景因子を独立変数としてロジスティック回帰を行い、背景因子からその治療が行われ

るかどうかを予測するモデル式を作成します。すると、個々の患者さんについて、その治療を受ける確率を計算することができるようになります。この条件付き確率をpropensity scoreといいます。ある治療を受けた群と受けなかった群について、propensity scoreで層別化したり、互いにpropensity scoreがマッチした症例をペアで抽出したりすることによって背景の条件を揃えた比較が可能になります。この高齢者AMLの研究では芽球割合、performance status、性別、年齢の4つの因子でpropensity scoreを計算して、その値で層別化した比較、マッチしたペアを抽出した比較のいずれにおいても強力化学療法実施群の生存期間が非実施群よりも有意に長いことが示されました。この結果から、強力化学療法に耐えられるような患者さんに対しては、しっかりと化学療法を実施することが推奨されると考えられました（ただし、この論文ではQOL補正は行っていません）。

12番の論文は同種造血幹細胞移植後早期の高ビリルビン血症例の予後を解析したものです。移植後早期の高ビリルビン血症の原因としては肝中心静脈閉塞症（hepatic veno-occlusive disease；VOD/SOS）が最も重篤ですが、日常用いられている臨床診断基準で診断される患者さんの中でも予後は様々です。特にシクロスポリンの副作用による高ビリルビン血症はしばしば体重増加も伴うため容易にVODの診断基準を満たしてしまいますが、概して予後は良好であり、テータ上はALPや $\gamma$ GTPの上昇が軽度であるという特徴があります。そこで、高ビリルビン血症発症時のALPとT-Bilの比に着目し、高ビリルビン血症回復との相関についてROC解析を行なったところ、ALP/T-Bil比124を閾値として高ビリルビン血症の回復を予測できることが示されました。ALP/T-Bil比高値群は多臓器不全に至る確率が高く、生存率も有意に低いということがわかりました。すなわち、移植後早期の高ビリルビン血症はALP/T-Bil比によって予後が予測できると考えられました。

その他の臨床研究もほとんどは後方視的コホート研究に該当します。用いるコホートが自施設（単一施設）の場合と多施設（あるいは学会データベース）の場合があり、得られる症例数の関係で後者を解析した論文はLeukemia誌などの、いわゆるimpact factorの高い雑誌（5～10点）に掲載されていて、前者を研究した解析はBone Marrow Transplantation誌などのややimpact factorの低い雑誌（2～5点です）で一流誌の範疇ですが）に掲載されるという傾向は避けられません。しかし、単施設の研究ならではの細やかな解析によってのみ答えることができるクリニカル・クエスションも多いので、単施設の研究も大切にしていま

す。

また、これらの臨床研究の統計解析には主にEZRを使用しています。EZRは統計ソフトのRとRコマンドーをもとにして自作した統計解析ソフトで、マウス操作だけで簡単に医療統計に必要な統計解析のほとんどを実施することができます。無料で使用できますので興味のある方は以下のページからダウンロードしてください（<http://www.jichi.ac.jp/saitama-sct/SaitamaHP.files/statmed.html>）。このソフトのマニュアルに、統計および臨床研究の入門的な解説を加えた書籍「EZRでやさしく学ぶ統計学」を昨年中外医学社から刊行しました。また、本ソフトウェアを紹介した論文がBone Marrow Transplantation誌に掲載されています（論文17）。

BSL棟の研究室では引き続き移植免疫、腫瘍免疫の基礎研究を行っています。論文11は一昨年の研究だより第27号で紹介させていただいた成人T細胞白血病（ATL）に関連する研究（Cancer Research 70：6181-6192, 2010）の続報です。ATLの原因ウイルスであるヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-I）の転写活性化因子Taxを特異的に認識するドナー由来の細胞傷害性T細胞（CTL）を、HLA-テトラマー法を用いて検出、単離し、single-cell RT-PCRによって個々の細胞のT細胞受容体レパトアの解析を行ったところ、T細胞受容体に特徴的なアミノ酸配列を持つTax特異的CTLがHTLV-I感染細胞に対して強力な細胞傷害活性を示すことを報告しました。今回は、移植後の長期のモニタリングを行い、これらの特異的CTLが特徴的な分化段階に存在すること、そして強い細胞傷害活性を有する2つのCTLクローンが移植後長期にわたって存在することが示され、これが移植後の腫瘍再発の抑制に寄与していることが示唆されました。その他にも、このsingle-cell RT-PCR法を用いた様々な免疫研究が進行しています。

最後になりますが、以下の論文の中には他科の先生方との共同研究も含まれます。今後も様々な診療科と共同研究を進めていきたいと思っておりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 英文論文

- 1) Masahiro Takeuchi, Chiaki Nakaseko, Chikako Ohwada, Kazuteru Ohashi, Kazuhiko Kakihana, Takehiko Mori, Yoshinobu Aisa, Yoshinobu Kanda, Satoshi Takahashi, Akira Yokota, Takeharu Kawaguchi, Takayuki Saito, Nahoko Hatsumi, Jun Taguchi, Hiroataka Takasaki, Heiwa Kanamori, Atsuo Maruta, Hisashi Sakamaki, and Shinichiro Okamoto. Allogeneic hematopoietic

- stem cell transplantation for primary and secondary myelofibrosis : a retrospective, multicenter study of the Kanto Study Group for Cell Therapy (KSGCT). *Journal of Hematopoietic Cell Transplantation* 1 : 15-23, 2012 (April)
- 2) Shinichi Kako, Hideki Nakasone, Hiroshi Endo, Kana Sakamoto, Masahiro Ashizawa, Miki Sato, Kiriko Terasako, Misato Kikuchi, Shun-Ichi Kimura, Shinya Okuda, Rie Yamazaki, Kumi Oshima, Aki Tanihara, Junji Nishida, Kensuke Usuki, Yoshinobu Kanda. Clinical course of patients with aplastic anemia or myelodysplastic syndrome associated with persistent neutropenia. *Hematological Oncology* 30 : 82-88, 2012 (June)
  - 3) Ken Ishiyama, Akiyoshi Takami, Yoshinobu Kanda, Shinji Nakao, Michihiro Hidaka, Tetsuo Maeda, Tomoki Naoe, Shuichi Taniguchi, Keisei Kawa, Tokiko Nagamura, Ken Tabuchi, Yoshiko Atsuta and Hisashi Sakamaki. Prognostic factors for acute myeloid leukemia patients with t (6 : 9)(p23 ; q34) who underwent an allogeneic hematopoietic stem cell transplant. *Leukemia* 26 : 1416-1419, 2012 (June)
  - 4) Jun Suzuki, Masahiro Ashizawa, Shinya Okuda, Hidenori Wada, Kana Sakamoto, Kiriko Terasako, Miki Sato, Shun-ichi Kimura, Misato Kikuchi, Hideki Nakasone, Shinichi Kako, Rie Yamazaki, Kumi Oshima, Junji Nishida, Yoshinobu Kanda. Varicella-zoster virus meningoencephalitis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Transplantation Infectious Disease* 14 : E7-12, 2012 (August)
  - 5) Shun-ichi Kimura, Hidenori Wada, Kana Sakamoto, Masahiro Ashizawa, Miki Sato, Kiriko Terasako, Hideki Nakasone, Misato Kikuchi, Shinya Okuda, Shinichi Kako, Rie Yamazaki, Kumi Oshima, Yukie Tanaka, Aki Tanihara, Junji Nishida, Yoshinobu Kanda. L-index as a novel index to evaluate both the intensity and duration of lymphopenia after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Transplantation Infectious Disease* 14 : 364-373, 2012 (August)
  - 6) Susumu Goyama, Kengo Takeuchi, Yoshinobu Kanda, Yasuhito Nannya, Shigeru Chiba, Masashi Fukayama, Mineo Kurokawa. Post-transplant endothelial disorder after hematopoietic stem cell transplantation : a blinded autopsy study. *Bone Marrow Transplantation* 47 : 1243-1245, 2012 (September)
  - 7) Shigeo Fuji, Fumiaki Nakamura, Hiroki Hosoi, Kazuo Hatanaka, Shuichi Taniguchi, Maho Satoh, Shin-ichiro Mori, Hisashi Sakamaki, Keisei Kawa, Koji Kato, Ritsuro Suzuki, Yoshiko Atsuta, Toshiharu Tamaki, Yoshinobu Kanda. Peripheral blood as a preferable stem cell source in salvage transplantation for graft failure after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. A retrospective analysis of the registry data of Japanese Society for Hematopoietic Cell Transplantation. *Biology of Blood and Marrow Transplantation* 18 : 1407-1414, 2012 (September)
  - 8) Kumi Oshima, Wataru Takahashi, Yuki Asano-Mori, Koji Izutsu, Tsuyoshi Takahashi, Yukihiro Arai, Yasunori Nakagawa, Kensuke Usuki, Mineo Kurokawa, Kenshi Suzuki, Kinuko Mitani, Yoshinobu Kanda. Intensive chemotherapy for elderly patients with acute myelogenous leukemia. A propensity score analysis by the Japan Hematology and Oncology Clinical Study Group (J-HOCS). *Annals of Hematology* 91 : 1533-1539, 2012 (October)
  - 9) Junya Kanda, Lun-Wei Chiou, Paul Szabolcs, Gregory D. Sempowski, David A. Rizzieri, Gwynn D. Long, Keith M. Sullivan, Cristina Gasparetto, John P. Chute, Ashley Morris, Jacalyn McPherson, Jeffrey Hale, John Andrew Livingston, Gloria Broadwater, Donna Niedzwiecki, Nelson J. Chao, Mitchell E. Horwitz. Immune recovery in adult patients after myeloablative dual umbilical cord blood, matched sibling, and matched unrelated donor hematopoietic cell transplantation. *Biol Blood Marrow Transplant.* 18 : 1664-1676, 2012 (November)
  - 10) Hiroaki Shimizu, Takayuki Saitoh, Masatsugu Tanaka, Takehiko Mori, Toru Sakura, Nobutaka Kawai, Yoshinobu Kanda, Chiaki Nakaseko, Shingo Yano, Hiroyuki Fujita, Shin Fujisawa, Shuichi Miyawaki, Heiwa Kanamori, Shinichiro Okamoto. Allogeneic hematopoietic stem cell 1 transplantation for adult AML patients with granulocytic sarcoma. *Leukemia* 26 : 2469-2473, 2012 (December)
  - 11) Yukie Tanaka, Hideki Nakasone, Rie Yamazaki, Hidenori Wada, Yuko Ishihara, Koji Kawamura, Kana Sakamoto, Masahiro Ashizawa, Tomohito

- Machishima, Miki Sato, Kiriko Terasako, Shun-ichi Kimura, Misato Kikuchi, Shinya Okuda, Shinichi Kako, Junya Kanda, Aki Tanihara, Junji Nishida, Yoshinobu Kanda. Long-term persistence of limited HTLV-I Tax-specific cytotoxic T cell clones in a patient with adult T cell leukemia/lymphoma after allogeneic stem cell transplantation. *Journal of Clinical Immunology* 32 : 1340-1352, 2012 (December)
- 12) Masahiro Ashizawa, Kumi Oshima, Hidenori Wada, Yuko Ishihara, Koji Kawamura, Kana Sakamoto, Miki Sato, Kiriko Terasako, Tomohito Machishima, Shun-ichi Kimura, Misato Kikuchi, Hideki Nakasone, Shinya Okuda, Shinichi Kako, Junya Kanda, Rie Yamazaki, Aki Tanihara, Junji Nishida, Yoshinobu Kanda. Hyperbilirubinemia in the early phase after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation : Prognostic significance of the alkaline phosphatase / total bilirubin ratio. *Bone Marrow Transplantation* 48 : 94-98, 2013 (January)
- 13) Kumi Oshima, Yoshinobu Kanda, Yasuhito Nanya, Masatsugu Tanaka, Chiaki Nakaseko, Shingo Yano, Shin Fujisawa, Hiroyuki Fujita, Akira Yokota, Satoshi Takahashi, Heiwa Kanamori, Shinichiro Okamoto for the Kanto Study Group for Cell Therapy (KSGCT). Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for patients with mildly reduced renal function as defined based on creatinine clearance before transplantation. *Annals of Hematology* 92 : 255-260, 2013 (February)
- 14) Junya Kanda, Yoshiko Atsuta, Atsushi Wake, Tatsuo Ichinohe, Minoko Takanashi, Yasuo Morishima, Shuichi Taniguchi, Satoshi Takahashi, Hiroyasu Ogawa, Kazuteru Ohashi, Yuju Ohno, Nobuyuki Aotsuka, Yasushi Onishi, Koji Kato, Tokiko Nagamura-Inoue, and Yoshinobu Kanda on behalf of the HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Impact of the direction of HLA mismatch on transplant outcome in single unrelated cord blood transplantation. *Biology of Blood and Marrow Transplantation* 19 : 247-254, 2013 (February)
- 15) Junya Kanda, Tatsuo Ichinohe, Shunichi Kato, Naoyuki Uchida, Seitaro Terakura, Takahiro Fukuda, Michihiro Hidaka, Yasunori Ueda, Tadakazu Kondo, Shuichi Taniguchi, Satoshi Takahashi, Tokiko Nagamura-Inoue, Junji Tanaka, Yoshiko Atsuta, Koichi Miyamura, Yoshinobu Kanda. Unrelated cord blood transplantation vs. related transplantation with HLA 1-antigen mismatch in the graft-versus-host direction. *Leukemia* (in press)
- 16) Miki Sato, Hideki Nakasone, Kumi Oshima, Yuko Ishihara, Hidenori Wada, Kana Sakamoto, Koji Kawamura, Masahiro Ashizawa, Tomohito Machishima, Kiriko Terasako, Shun-ichi Kimura, Misato Kikuchi, Shinya Okuda, Aki Tanihara, Rie Yamazaki, Yukie Tanaka, Junya Kanda, Shinichi Kako, Junji Nishida, Yoshinobu Kanda. Prediction of transplant-related complications by C-reactive protein levels before hematopoietic stem cell transplantation. *Bone Marrow Transplantation* (in press)
- 17) Yoshinobu Kanda. Investigation of the freely-available easy-to-use software "EZR" (Easy R) for medical statistics. *Bone Marrow Transplantation* (in press)
- 18) Kumi Oshima, Yoshinobu Kanda, Shinichi Kako, Keiko Ohno, Satoshi Kishino, Mineo Kurokawa. Pharmacokinetics of micafungin in patients undergoing allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Transplantation Infectious Disease* (in press)
- 19) Junya Kanda, Leylagul Kaynar, Yoshinobu Kanda, Vinod K. Prasad, Suhag H. Parikh, Lan Lan, Tong Shen, David A. Rizzieri, Gwynn D. Long, Keith M. Sullivan, Cristina Gasparetto, John P. Chute, Ashley Morris, Scott Winkel, Jacalyn McPherson, Joanne Kurtzberg, Nelson J. Chao, Mitchell E. Horwitz. Pre-engraftment syndrome after myeloablative dual umbilical cord blood transplantation : Risk factors and response to treatment. *Bone Marrow Transplantation* (in press)
- 20) Shinichi Kako, Heiwa Kanamori, Naoki Kobayashi, Akio Shigematsu, Yasuhito Nannya, Mika Nakamae, Kazuyuki Shigeno, Kazumi Suzukawa, Masahiro Takeuchi, Motohiro Tsuzuki, Kensuke Usuki, Kazuo Hatanaka, Kazuei Ogawa, Kinuko Mitani, Yuichiro Nawa, Yoshihiro Hatta, Ishikazu Mizuno, and Yoshinobu Kanda. Outcome after first relapse in adult patients with Philadelphia chromosome-negative

- acute lymphoblastic leukaemia. *British Journal of Haematology* (in press)
- 21) Shinichi Kako, Satoshi Morita, Hisashi Sakamaki, Hiroatsu Iida, Mineo Kurokawa, Koichi Miyamura, Heiwa Kanamori, Masamichi Hara, Naoki Kobayashi, Yasuo Morishima, Keisei Kawa, Taiichi Kyo, Toru Sakura, Itsuro Jinnai, Jin Takeuchi, Yasushi Miyazaki, Shuichi Miyawaki, Kazunori Ohnishi, Tomoki Naoe, Yoshinobu Kanda. The role of HLA-matched unrelated transplantation in adult patients with Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia in first remission. A decision analysis. *Bone Marrow Transplantation* (in press)
- 22) Masahiro Ashizawa, Shun-ichi Kimura, Hidenori Wada, Kana Sakamoto, Miki Sato, Kiriko Terasako, Misato Kikuchi, Hideki Nakasone, Shinya Okuda, Shinichi Kako, Rie Yamazaki, Kumi Oshima, Katsuhiko Matsuura, Tsukasa Ohmori, Seiji Madoiwa, Junji Nishida, Jun Mimuro, Kaoru Tabei, Yoichi Sakata, Yoshinobu Kanda. Acquired factor V inhibitor associated with life-threatening bleeding with a mixing test result indicating coagulation factor deficiency pattern. *Hematology* (in press)
- 23) Yoshinobu Kanda, Kumi Oshima, Shinichi Kako, Takahiro Fukuda, Naoyuki Uchida, Koichi Miyamura, Yukio Kondo, Shinji Nakao, Koji Nagafuji, Toshihiro Miyamoto, Mineo Kurokawa, Yasushi Okoshi, Shigeru Chiba, Yasuo Ohashi, Yoichi Takae, Shuichi Taniguchi. In vivo T-cell depletion with alemtuzumab in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation : Combined results of two studies on aplastic anemia and HLA-mismatched haploidentical transplantation. *American Journal of Hematology* (in press)
- 24) Yoshiko Atsuta, Junya Kanda, Minoko Takanashi, Yasuo Morishima, Shuichi Taniguchi, Satoshi Takahashi, Hiroyasu Ogawa, Kazuteru Ohashi, Yuju Ohno, Yasushi Onishi, Nobuyuki Aotsuka, Tokiko Nagamura-Inoue, Koji Kato, and Yoshinobu Kanda on behalf of the HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Different effects of HLA disparity on transplant outcome after single-unit cord blood transplantation between pediatric and adult patients with leukemia. *Haematologica* (in press)
- 25) Yoshinobu Kanda, Junya Kanda, Yoshiko Atsuta, Yoshinobu Maeda, Tatsuo Ichinohe, Kazuteru Ohashi, Takahiro Fukuda, Koichi Miyamura, Hiroatsu Iida, Takehiko Mori, Koji Iwato, Tetsuya Eto, Keisei Kawa, Satoshi Morita, Yasuo Morishima. Impact of a single HLA allele mismatch on the outcome of unrelated bone marrow transplantation over two time periods. A retrospective analysis of 3003 patients from the HLA Working Group of the Japan Society for Blood and Marrow Transplantation. *British Journal of Haematology* (in press)
- 26) Misato Kikuchi, Hideki Nakasone, Kinuko Mitani, Moritaka Gotoh, Ayako Kobayashi, Naoki Kurita, Takeshi Saito, Ken Sato, and Yoshinobu Kanda. Retrospective assessment of secondary prophylaxis for invasive aspergillosis in neutropenic hematology patients and identification of risk factors for relapse of fungal disease. *Scandinavian Journal of Infectious Disease* (in press)
- 27) Koji Kawamura, Hidenori Wada, Ryoko Yamasaki, Yuko Ishihara, Kana Sakamoto, Masahiro Ashizawa, Miki Sato, Tomohito Machishima, Kiriko Terasako, Shun-ichi Kimura, Misato Kikuchi, Hideki Nakasone, Rie Yamazaki, Junya Kanda, Shinichi Kako, Aki Tanihara, Junji Nishida, Yoshinobu Kanda. Low-dose acyclovir prophylaxis for the prevention of herpes simplex virus disease after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Transplantation Infectious Disease* (in press)

## 和文総説

- 1) 神田善伸 免疫抑制薬 門脇孝、永井良三総編集 **最新内科学** 新潟：西村書店 2012年 P196-198
- 2) 神田善伸 急性リンパ性白血病の化学療法と造血幹細胞移植 **造血器腫瘍学** 金倉讓編 東京：日本臨床社 2012年70巻増刊2 P447-455
- 3) 神田善伸 ウイルス感染症の対策 **造血器腫瘍学** 金倉讓編 東京：日本臨床社 2012年70巻増刊2 P258-263
- 4) 神田善伸 造血幹細胞移植 **What's New in Oncology 2<sup>nd</sup> Edition** 佐藤隆美、藤原康弘、古瀬純司、大山優編 東京：南山堂 2012年 P760-774

- 5) 神田善伸 造血幹細胞移植時の発熱性好中球減少症の治療 田村和夫編 **発熱性好中球減少症の予防と対策 改訂版** 大阪：医薬ジャーナル社 2012年 P182-189
- 6) 神田善伸 CML治療における造血幹細胞移植の位置づけ 金倉讓、木崎昌弘、鈴木律朗、神田善伸編 **EBM血液疾患の治療2012～2013** 東京：中外医学社 2012年 P180-184
- 7) 神田善伸 第一寛解期急性骨髄性白血病に対する寛解後療法としての化学療法と移植の治療選択 **新しい診断と治療のABC 急性白血病 改訂第2版** 大野隆三編 大阪：最新医学社 2012年 P252-267
- 8) 神田善伸 わが国のHLA不適合造血幹細胞移植の現状 **医学のあゆみ** 240：377-383, 2012
- 9) 神田善伸 これからの造血幹細胞移植を支える看護 移植後晩期障害 **がん看護** 17：368-371, 2012
- 10) 神田善伸 血液腫瘍の標準治療2012 造血幹細胞移植の現状 **成人病と生活習慣病** 42：647-653, 2012
- 11) 神田善伸 HLA適合血縁・非血縁者間移植とHLA1抗原不適合血縁者間移植の比較 **血液内科** 65：200-205, 2012
- 12) 神田善伸 多発性骨髄腫に対する同種造血幹細胞移植 **医学のあゆみ** 242：1098-1103, 2012
- 13) 神田善伸 わが国のHLA不適合血縁者間造血幹細胞移植の現状 **日本造血細胞移植学会雑誌** (査読有り) 1：68-75, 2012
- 14) 山崎理絵、神田善伸 HTLV-I抗体 細川直登編 感度と特異度からひもとく感染症診断 東京：文光堂 2012年 P254-257
- 15) 佐藤博之、神田善伸 明日に生かす、健康診断血算 **診断と治療** 100：753-757, 2012
- 16) 佐藤博之、神田善伸 白血球系疾患 症候から診断へ **Medical Practice** 29臨増：290-292, 2012
- 17) 佐藤博之、神田善伸 白血球系疾患 疾患各論 **Medical Practice** 29臨増：292-295, 2012
- 18) 渡辺卓郎、神田善伸 特集 いま、内科薬はこう使う **G-CSF Medicina** 49：268-272, 2012
- 19) 諫田淳也 HLA一抗原不適合血縁者間移植とHLA適合非血縁者間移植の優劣 **EBM血液疾患の治療2013-2014** 中外医学社 2012年 P540-543
- 20) 諫田淳也 骨髄増殖性腫瘍に対する移植 **みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床 改訂版** 医薬ジャーナル社 2012年 P576-580
- 21) 賀古真一 リンパ腫に対する造血幹細胞移植 **内科** 110：253-256, 2012
- 22) 賀古真一 成人急性リンパ性白血病に対する移植 神田善伸編 **みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床 改訂版** 医薬ジャーナル社 2012年 P545-554
- 23) 賀古真一 移植後再発に対する治療方針 金倉讓、木崎昌弘、鈴木律郎、神田善伸編 **EBM血液疾患の治療** 2013-2014、東京：中外医学社 2012年 P583-587
- 24) 菊地美里 微小残存病変の検出とその意義 **みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床 改訂版** 神田善伸編 医薬ジャーナル社 大阪：2012年 P141-147
- 25) 木村俊一 細菌・真菌感染症 神田善伸編 **みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床 改訂版** 医薬ジャーナル社 2012年 P421-428
- 26) 木村俊一 発熱性好中球減少症の治療指針 金倉讓、木崎昌弘、鈴木律朗、神田善伸編 **EBM血液疾患の治療2012～2013** 東京：中外医学社 2012年 P514-519
- 27) 木村俊一、神田善伸 全身状態、白血球数(D-index)を考慮した侵襲性アスペルギローシスの診断 **血液内科** 65：858-866, 2012

## 編集、監修など

- 1) 金倉讓、木崎昌弘、鈴木律朗、神田善伸 **EBM血液疾患の治療2012-2013** 中外医学社
- 2) 神田善伸 **みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床 改訂版** 医薬ジャーナル社

## 学会招待講演など

- 1) 神田善伸 最新のガイドラインを眺めながら真菌感染症を考える **第74回日本血液学会総会** コーポレートセミナー 京都 2012年10月21日
- 2) 神田善伸 血液疾患患者さんの不妊対策 血液疾患患者さんの性腺機能障害とその対策 **第74回日本血液学会総会** ワークショップ 京都 2012年10月21日
- 3) 神田善伸 造血幹細胞移植と各内科領域の関わり **第47回日本内科学会信越支部主催生涯教育講演会** 松本 2012年10月28日
- 4) 神田善伸 造血器腫瘍患者を真菌感染症から守るために **第32回日本画像医学会** ランチョンセミナー 東京 2013年2月23日
- 5) 神田善伸 慢性GVHDの診断と治療 **第35回日本造血細胞移植学会総会** 看護シンポジウム 金沢 2013年3月9日
- 6) 神田善伸 造血幹細胞移植患者の真菌感染症対策

ガイドライン ～予防対策を中心に～ **第35回日本造血細胞移植学会総会** イブニングセミナー 金沢 2013年3月8日

- 7) 神田善伸 **第35回日本造血細胞移植学会総会** 造血幹細胞移植患者に対する真菌治療開始の至適タイミング ～早すぎず、しかし決して遅れてはならない～ランチョンセミナー 金沢 2013年3月8日
- 8) 神田善伸 **第35回日本造血細胞移植学会総会** アムホテリシンBリボソーム製剤の安全な使い方とEmpiric、Preemptive therapyにおける位置づけ ランチョンセミナー 金沢 2013年3月9日
- 9) 諫田淳也 造血幹細胞移植のドナー選択におけるHLA一抗原不適合血縁者の位置づけ **第19回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム** 要望演題 岡山 2012年11月16日
- 10) 諫田淳也 非血縁骨髄ドナー vs. HLA不適合血縁ドナー **第35回日本造血細胞移植学会総会** 要望演題 金沢 2013年3月9日

学会一般演題

- 1) 久保敬子、町島智人、菊地美里、和田英則、山崎諒子、河村浩二、石原優子、坂本佳奈、蘆澤正弘、木村俊一、賀古真一、諫田淳也、西田淳二、神田善伸、浦吉俊輔、松本吏弘、野首光弘、山田茂樹 Ph-ALLに対するHLA不適合移植後早期に生じた腸管急性GVHDからEBV-PTLDへの急速な病態変化 **第168回日本血液学会例会** 口演 東京 2012年7月
- 2) 神田善伸、諫田淳也、熱田由子、前田嘉信、一戸辰夫、垣花和彦、福田隆浩、宮村耕一、河敬世、森田智視、森島泰雄 HLAアリル不適合がHLA6抗原適合非血縁者間骨髄移植成績に与える影響の経時変化 **第74回日本血液学会総会** プレナリーセッション 京都 2012年10月
- 3) 神田善伸、中前博久、柴山浩彦、黒川峰夫、中世古知昭、福田哲也、永井正、大西一功、松村到、松田晃、尼ヶ崎太郎、小城なお子、河原英治 初発の慢性期CMLに対するニロチニブとイマチニブの比較：PK解析を含むENESTnd36ヵ月日本人部分集団解析結果 **第74回日本血液学会総会** 一般口演 京都 2012年10月
- 4) 寺迫桐子、仲宗根秀樹、田中ゆきえ、佐藤美樹、山崎理絵、和田英則、石原優子、河村浩二、坂本佳奈、蘆澤正弘、町島智人、木村俊一、菊地美里、奥田慎也、賀古真一、諫田淳也、西田淳二、神田善伸 CMV陰性ドナーからの造血幹細胞移植後

の単離細胞によるCMV特異的細胞傷害性T細胞受容体レパトア解析 **第74回日本血液学会学術集会** 一般口演 京都 2012年10月

- 5) 諫田淳也、仲宗根秀樹、熱田由子、東梅友美、横山洋紀、福田隆浩、谷口修一、大橋一輝、小川啓恭、森島泰雄、長村登紀子、坂巻壽、村田誠 日本における慢性GVHDの危険因子と臓器別の特徴：JSHCT GVHDワーキンググループによる後方視的解析 **第74回日本血液学会総会** 一般口演 京都 2012年10月
- 6) 諫田淳也、熱田由子、和氣敦、一戸辰夫、高梨美乃子、森島泰雄、谷口修一、高橋聡、加藤剛二、長村登紀子、神田善伸 HLA不適合の方向が非血縁臍帯血移植の移植成績に及ぼす影響 JSHCT HLAワーキンググループによる後方視的解析 **第74回日本血液学会総会** 一般口演 京都 2012年10月
- 7) 諫田淳也、一戸辰夫、加藤俊一、内田直之、寺倉精太郎、谷口修一、高橋聡、福田隆浩、日高道弘、長村登紀子、田中淳司、熱田由子、宮村耕一、神田善伸 臍帯血移植とGVH方向1抗原不適合血縁者間移植の比較 **第74回日本血液学会総会** 一般口演 京都 2012年10月
- 8) 賀古真一、和田英則、石原優子、河村浩二、坂本佳奈、佐藤美樹、蘆澤正弘、町島智人、寺迫桐子、木村俊一、菊地美里、仲宗根秀樹、奥田慎也、諫田淳也、山崎理絵、西田淳二、神田善伸 抗ヒト胸腺細胞免疫グロブリンを用いたHLA不一致同種造血幹細胞移植の安全性と有効性に関する後方視的検討 **第74回日本血液学会総会** 一般口演 京都 2012年10月
- 9) 河村浩二、和田英則、山崎諒子、石原優子、坂本佳奈、蘆澤正弘、佐藤美樹、寺迫桐子、町島智人、木村俊一、菊地美里、仲宗根秀樹、奥田慎也、山崎理絵、諫田淳也、賀古真一、西田淳二、神田善伸 同種造血幹細胞移植後の単純ヘルペス感染症に対する超低用量アシクロビルによる予防 **第74回日本血液学会総会** 一般口演 京都 2012年10月
- 10) 山崎理絵、仲宗根秀樹、田中ゆきえ、佐藤美樹、寺迫桐子、和田英則、石原優子、河村浩二、坂本佳奈、蘆澤正弘、町島智人、木村俊一、菊地美里、奥田慎也、賀古真一、諫田淳也、西田淳二、神田善伸 IgGアロタイプによる同種造血幹細胞移植後水痘带状疱疹ウイルス抗体の由来の解析 **第74回日本血液学会総会** 一般口演 京都 2012年10月
- 11) 仲宗根秀樹、山崎理絵、佐藤美樹、寺迫桐子、田

- 中ゆきえ、坂本佳奈、和田英則、石原優子、河村浩二、町島智人、蘆澤正弘、木村俊一、菊地美里、奥田慎也、諫田淳也、賀古真一、谷原亜紀、西田淳二、神田善伸 皮膚繊維芽細胞の細胞外マトリックス制御における中高分子量アディポネクチンの与える影響 **第74回日本血液学会総会** 一般口演 京都 2012年10月
- 12) 仲宗根秀樹、鬼塚真仁、鈴木信寛、和気敦、垣花和彦、衛藤徹也、宮村耕一、坂巻壽、矢部普正、森島泰雄、加藤剛二、鈴木律朗、福田隆浩 一元化管理事業データに基づく造血幹細胞移植後の器質性肺炎 (COP/BOOP) の関連因子 **第74回日本血液学会総会** 一般口演 京都 2012年10月
- 13) 菊地美里、仲宗根秀樹、坂本佳奈、河村浩二、石原優子、蘆澤正弘、町島智人、木村俊一、賀古真一、西田淳二、木田理子、半下石明、臼杵憲祐、関口直宏、能登俊、神田善伸 高齢非ホジキンリンパ腫患者に対する2/3 dose R-CHOP療法の効果と有害事象について **第74回日本血液学会総会** ポスター 京都 2012年10月
- 14) 石原優子、木村俊一、和田英則、河村浩二、坂本佳奈、蘆澤正弘、佐藤美樹、町島智人、寺迫桐子、菊地美里、仲宗根秀樹、奥田慎也、賀古真一、諫田淳也、山崎理絵、西田淳二、神田善伸 急性リンパ性白血病に対する寛解導入療法におけるD-index及びL-indexの検討 **第74回日本血液学会総会** ポスター 京都 2012年10月
- 15) 和田英則、山崎諒子、石原優子、河村浩二、坂本佳奈、佐藤美樹、蘆澤正弘、町島智人、寺迫桐子、木村俊一、菊地美里、仲宗根秀樹、奥田慎也、山崎理絵、賀古真一、諫田淳也、西田淳二、神田善伸 多発性骨髄腫患者の体重がレナリドミドの有効性、毒性に及ぼす影響 **第74回日本血液学会総会** ポスター 京都 2012年10月
- 16) 菊地美里、仲宗根秀樹、三谷絹子、後藤守孝、小林彩香、栗田尚樹、齊藤健、佐藤謙、神田善伸 侵襲性アスペルギルス症の既往を有する好中球減少患者における侵襲性アスペルギルス症二次予防の有用性の検討 **第56回日本医真菌学会総会** ポスター 東京 2012年11月
- 17) 宮澤晴久、町島智人、菊地美里、和田英則、山崎諒子、河村浩二、蘆澤正弘、賀古真一、諫田淳也、西田淳二、神田善伸 片麻痺にて発症シランダム皮膚生検にて診断し得た血管内大細胞B細胞リンパ腫の一例 **第169回日本血液学会例会** 口演 東京 2013年2月
- 18) Junya Kanda, Tatsuo Ichinohe, Shunichi Kato, Naoyuki Uchida, Seitaro Terakura, Takahiro Fukuda, Michihiro Hidaka, Yasunori Ueda, Tadakazu Kondo, Shuichi Taniguchi, Satoshi Takahashi, Tokiko Nagamura-Inoue, Junji Tanaka, Yoshiko Atsuta, Koichi Miyamura, Yoshinobu Kanda ; on behalf of the Donor/Source Working Group and HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. UCB transplantation vs. related transplantation with HLA 1-AG mismatch in the GVH direction. **Annual Winter Meeting of the Korean Society of Blood and Marrow Transplantation** Seoul Korea February 2013
- 19) Junya Kanda, Akiyoshi Takami, Junji Tanaka, Koichi Miyamura, Kazuteru Ohashi, Takahiro Fukuda, Yukiyasu Ozawa, Yasuo Morishima, Hisashi Sakamaki, Yoshiko Atsuta, Yoshinobu Kanda Decision Analysis of Donor Selection in Allogeneic Stem Cell Transplantation for Patients with Acute Leukemia in First Remission - Related Donor with HLA-1 Antigen Mismatch in the GVH Direction vs. HLA-8/8 Allele-Matched Unrelated Donor 2013 **BMT Tandem Meetings** Poster session Salt Lake City, Utah February, 2013
- 20) 諫田淳也、高見昭良、田中淳司、宮村耕一、大橋一輝、福田隆浩、小澤幸泰、森島泰雄、坂巻壽、熱田由子、神田善伸 第一寛解期急性白血病に対する同種移植のドナー選択に関する臨床決断分析—GVH方向HLA—抗原不適合血縁者とHLA8/8アリル適合非血縁者の比較 **第35回日本造血細胞移植学会総会** 一般口演 金沢 2013年3月
- 21) 菊地美里、和田英則、石原優子、河村浩二、坂本佳奈、山崎諒子、蘆澤正弘、佐藤美樹、寺迫桐子、町島智人、木村俊一、仲宗根秀樹、賀古真一、諫田淳也、山崎理絵、西田淳二、神田善伸 同種造血幹細胞移植後生着前と生着後の血流感染症に関する解析 **第35回日本造血細胞移植学会総会** 一般口演 金沢 2013年3月
- 22) 河村浩二、和田英則、山崎諒子、石原優子、坂本佳奈、蘆澤正弘、佐藤美樹、寺迫桐子、町島智人、木村俊一、菊地美里、仲宗根秀樹、山崎理絵、諫田淳也、賀古真一、西田淳二、神田善伸 同種造血幹細胞移植後の長期低用量ACVによるVZV再活性化予防の後方視的検討 **第35回日本造血細胞移植学会総会** ポスター 金沢 2013年3月
- 23) 蘆澤正弘、和田英則、山崎諒子、河村浩二、石原優子、坂本佳奈、佐藤美樹、町島智人、寺迫桐子、木村俊一、菊地美里、山崎理絵、諫田淳也、賀古



真一、西田淳二、角田秀和、大森義男、仲澤聖則、田中修、神田善伸 若年女性に対する全身放射線照射を用いた造血幹細胞移植での2種の異なる卵巣遮蔽法による卵巣機能保護の比較 第35回日本造血細胞移植学会総会 ポスター発表 金沢 2013年3月9日

## ■ アレルギーリウマチ科

前回2011.9月より2012年12月まで

### 原著論文

- 1) Yabe H, Ishii A, Niikawa N, Matsubayashi H, Kakei M, Kawakami M, Sugawara H. An elderly patient who developed spontaneous spinal epidural hematoma during warfarin therapy. *Internal medicine* 51 : 1429-1432, 2012
- 2) Watanabe Y, Koyama S, Moriguchi M, Miwa C, Shiraishi M, Nomura M, Nokubi M, Terai C, Kawabata Y. Rapidly progressive respiratory failure in mixed connective tissue disease : report of an autopsy case. *Inter Med.* 51 : 3415-19, 2012
- 3) Ochi K, Horiuchi Y, Seki M, Nishi K, Nozaki H, Yabe H. Polyarthritits and posterior interosseous nerve palsy associated with gastric carcinoma. *Rheumatology international* 32 : 2557-2559, 2012
- 4) Ochi K, Horiuchi Y, Matsumura T, Nakamura M, Takei T, Yabe H. Distal radius fracture after Sauvé-Kapandji procedure in a rheumatoid arthritis patient. *Modern rheumatology* 22 : 290-294, 2012
- 5) Miya, M., Maeshima, A., Mishima, K., Sakurai, N., Ikeuchi, H., Kuroiwa, T., Hiromura, K., Yokoo, H. and Nojima, Y. injury. Enhancement of in vitro human tubulogenesis by endothelial cell-derived factors : implications for in vivo tubular regeneration after injury. *Am J Physiol Renal Physiol.* 301 : 387-95, 2011
- 6) Kayakabe K, Kuroiwa T, Sakurai N, Ikeuchi H, Kadiombo AT, Sakairi T, Kaneko Y, Maeshima A, Hiromura K, Nojima Y. Interleukin-1 $\beta$  measurement in stimulated whole blood cultures is useful to predict response to anti-TNF therapies in rheumatoid arthritis. *Rheumatology (Oxford)* 51 : 1639-43, 2012.
- 7) Kayakabe K, Kuroiwa T, Sakurai N, Ikeuchi H, Kadiombo AT, Sakairi T, Matsumoto T, Maeshima A, Hiromura K, Nojima Y. Interleukin-6 promotes destabilized angiogenesis by modulating angiopoietin expression in rheumatoid arthritis. *Rheumatology (Oxford)* 51 : 1571-9, 2012.
- 8) Miya M, Maeshima A, Mishima K, Sakurai N, Ikeuchi H, Kuroiwa T, Hiromura K, Nojima Y. Age-related decline in label-retaining tubular cells : implication for reduced regenerative capacity after injury in the aging kidney. *Am J Physiol Renal Physiol.* 302 : F694-702, 2012.
- 9) Umemoto A, Ikeuchi H, Hiromura K, Hamatani H, Sakurai N, Sakairi T, Matsumoto T, Maeshima A, Kuroiwa T, Nojima Y. Hydronephrosis caused by a relapse of granulomatosis with polyangiitis (Wegener's). *Mod Rheumatol.* 22 : 616-20, 2012.
- 10) 矢部寛樹、小松研郎、森岡秀夫、小柳貴裕. 脛骨近位骨巨細胞腫に対し腫瘍用人工膝関節置換術に腓骨前内方移行術を併用し良好な患肢機能を得た一例. *神奈川整形災害外科研究会雑誌.* 24 (5) : 225-228, 2012年3月
- 11) 矢部寛樹、岡さや香、高橋正明、松崎健一郎、横井秋夫、数枝木斉、山本宗宏、林俊吉、白井宏. IMHS (Intramedullary Hip Screw) 早期折損に伴って生じた大腿骨転子下骨折偽関節の一例. *関東整形災害外科学会雑誌* 43 (6) : 2012年12月 (in press)
- 12) 池内秀和、梅元あずさ、月田真祐子、櫻井則之、前嶋明人、黒岩卓、廣村桂樹、野島美久. アダリムマブ投与中にニューモシスチス肺炎を発症した関節リウマチ患者2例の報告. *日本臨床免疫学会会誌* 5 : 420-425, 2011

### 学会発表

- 1) Yabe H, Kuroiwa T, Nonaka A, Tsutsumi T, Sakurai T, Moriguchi M, Oshima H, Ochi K, Terai C. Clinical Features and Treatment Results of Japanese Patients with SAPHO (synovitis-acne-pustulosis-hyperostosis-osteitis) Syndrome. ACR (American College of Rheumatology) 76th Annual Meeting 2012.11.9-13 Washington DC, US
- 2) 堤智美、寺井千尋、黒岩卓、矢部寛樹、野中彩. 典型的筋炎症状を呈し病理組織で診断された結節性多発動脈炎の一例. 第22回日本リウマチ学会関東支部学術集会 2011.12.11 さいたま
- 3) 黒岩卓、加家壁健、野中彩、堤智美、矢部寛樹、櫻井則之、池内秀和、野島美久、寺井千尋. 皮

- 膚筋炎における血清アンギオポエチン濃度の検討. 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会 2012.4.26-28 東京
- 4) 矢部寛樹、黒岩卓、野中彩、堤智美、櫻井正、森口正人、越智健介、寺井千尋. アダリムマブにより著名な鎮痛効果を認めた脊髄炎合併SAPHO症候群の2例. 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会 2012.4.26-28 東京
  - 5) 堤智美、森口正人、櫻井正、青木和利、東孝典、天野宏一、奥山あゆみ、金子元英、川越光博、木田一成、久我芳昭、小林茂人、鈴木王洋、千野健太郎、中嶋京一、半田祐一、広瀬立夫、松崎剛、吉田秀、寺井千尋. 関節リウマチにおけるミゾリビンの有効性と腎機能に関する検討. 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会 2012.4.26-28 東京
  - 6) 野中彩、堤智美、矢部寛樹、櫻井正、森口正人、黒岩卓、寺井千尋. 多発性筋炎・皮膚筋炎の治療における早期理学療法導入の有効性に関する検討. 第56回日本リウマチ学会総会・学術集会 2012.4.26-28 東京
  - 7) 矢部寛樹、黒岩卓、野中彩、堤智美、越智健介、寺井千尋. アダリムマブが有効であった脊椎炎合併SAPHO症候群の2例. 第22回日本脊椎関節炎学会 2012.9.29 大阪
  - 8) 矢部寛樹、櫻井正、野中彩、堤智美、黒岩卓、寺井千尋. 乳がん化学療法治療後に発症したRNA polymerase III抗体陽性びまん型強皮症の一例. 第27回日本臨床リウマチ学会 2012.11.23 神戸
  - 9) 木村真智子、矢部寛樹、渡辺珠美、坂根英夫、眞山英徳、石井彰、松沢迪子、崎山快夫、大塚美恵子、菅原斉. 頸部から上肢の疼痛で発症し、他病院の整形外科では診断に苦慮した神経痛性筋萎縮症の1例. 第587回日本内科学会関東地方会 2012.5.12 東京
  - 3) 鈴木潤、矢部寛樹、黒岩卓、野中彩、堤智美、櫻井正、寺井千尋. 強皮症に併発し網膜血管炎を呈したANCA関連血管炎の一例. 第58回埼玉リウマチ研究会 さいたま 2012.1.20
  - 4) 矢部寛樹、櫻井正、野中彩、堤智美、黒岩卓、寺井千尋. 乳がん化学療法治療後に発症した抗RNAポリメラーゼIII抗体陽性のびまん型強皮症の一例. 第59回埼玉リウマチ研究会 さいたま 2012.7.20
  - 5) 中山由梨、矢部寛樹、野中彩、堤智美、黒岩卓、寺井千尋. 器質化肺炎を合併した抗CCP抗体陽性乾癬性関節炎の一例. 第53回関東リウマチ研究会 東京 2012.6.23
  - 6) 野中彩、矢部寛樹、堤智美、黒岩卓、寺井千尋、神田善伸. 治療抵抗性強皮症症例に対する末梢血自己幹細胞移植の経験. 第8回腎・膠原病治療研究会 東京 2012.9.14
  - 7) 野中彩、矢部寛樹、堤智美、黒岩卓、寺井千尋. 肥厚性硬膜炎の治療経験. 第1回さいたま市合同リウマチカンファレンス さいたま 2012.5.16
  - 8) 野中彩、矢部寛樹、堤智美、黒岩卓、寺井千尋. 著名な腹水貯留をきたしたSLEの一例. 第2回さいたま市合同リウマチカンファレンス さいたま 2012.9.5
  - 9) 野中彩、矢部寛樹、堤智美、黒岩卓、寺井千尋. 治療抵抗性強皮症症例に対する末梢血自己幹細胞移植の経験. 第3回さいたま市合同リウマチカンファレンス さいたま 2012.12.1

## 研究会発表

- 1) 吉崎和幸、山田正仁、池田修一、安藤由喜雄、寺井千尋ら. AAアミロイドーシスのトシリズマブによる治療研究6 AAアミロイドーシス臨床研究会による治療継続. アミロイドーシスに関する調査研究班 平成23年度研究報告会 2011.1.19-20 東京
  - 2) 工藤幸司、福田絵美子、岡村信行、寺井千尋、吉崎和幸、山田正仁ら. アミロイドーシス特有の病理増を認識するプローブの探索(5). アミロイドーシスに関する調査研究班 平成23年度研究報告会 2012.1.19-20 東京
- 著書総説
- 1) 寺井千尋. アミロイドーシス. 内科学、東京、西村書店、p1290-1293、2012
  - 2) 黒岩卓、寺井千尋. 特集リウマチ性疾患の腎病変—診断と治療の最前線— 腎生検の適応と実際. リウマチ科 47: 462-467, 2012
  - 3) 寺井千尋. 新しい高尿酸血症治療薬. Medical Practice 28: 2062-2064, 2011
  - 4) 寺井千尋. アレルギー・炎症に伴う浮腫 Fluid Management Renaissance 2: 261-268, 2012
  - 5) 寺井千尋. 血清尿酸値をいかに下げるか アロプリノール medicina 49: 1394-96, 2012
  - 6) 寺井千尋. 関節リウマチとSAA. MEDICAL TECHNOLOGY 40: 936-937, 2012
  - 7) 寺井千尋. 痛風関節炎治療の実際. The Bone 26: 45-47, 2012
- 講演・その他
- 1) 寺井千尋. 高尿酸血症を伴う病態における治療の

- 意義. フェブリク錠新発売記念講演会 名古屋  
2011.9.17
- 2) 寺井千尋. トシリズマブによるRA続発性アミロイドーシスの治療. 第2回埼玉抗IL-6療法研究会  
さいたま 2011.11.16
  - 3) 寺井千尋. 最新の痛風・高尿酸血症治療. 名古屋市中川区医師会第313回臨床懇話会 名古屋  
2012.2.4
  - 4) 寺井千尋. 関節リウマチ診療における腎障害とその対策. 第6回関節リウマチの診療を考える会  
越谷 2012.2.13.
  - 5) 寺井千尋. リウマチ治療におけるT2T戦略と病診連携. 第3回関節リウマチ病診連携の会  
さいたま 2012.2.23
  - 6) 寺井千尋. 関節リウマチにおける腎障害とその対策. 神鋼病院リウマチ懇話会 神戸 2012.3.28
  - 7) 寺井千尋. 関節リウマチにおけるミゾリビンの有効性と腎機能に関する検討. 埼玉・リウマチの腎機能障害を考える会  
さいたま 2012.9.6
  - 8) 寺井千尋. 関節リウマチ診断・治療のアップデート. 榎原地区医師会学術講演会 榎原 2012.9.8
  - 9) 寺井千尋. 痛風診療における最近の進歩. 第39回見沼リウマチ懇話会 2012.9.20
  - 10) 寺井千尋. リウマチ・膠原病診療のトピックス 岐阜地区プログラフ適正使用講演会 岐阜  
2012.10.27
  - 11) 寺井千尋. 当院における関節リウマチ患者連携の実際. 第5回 関節リウマチ治療連携懇話会 越谷 2012.12.5
  - 12) 黒岩卓. 最近の関節リウマチ治療事情. 第3回関節リウマチ病診連携の会  
さいたま 2012.2.23

の異常とその意義. 第101回日本病理学会総会  
2012年4月27日 東京 (日本病理学会誌、101  
(1) : 258, 2012)

## ② 原著論文

- 1) Dobashi, Y. Molecularly Targeted Therapy : Great progress or Evil cycle. Editorial :  
Chemotherapy 1 (3) : 1-2, 2012.
- 2) Dobashi, Y., Kimura, M., Matsubara, H., Endo, S., Inazawa, J., and Ooi, A. Molecular alterations in *AKT* and its protein activation in human lung carcinomas. *Human Pathol.* 43 (12) : 2229-40, 2012.
- 3) Suzuki, S., Dobashi, Y., Minato, H., Tajiri, R., Yoshizaki, T and Ooi, A. Immunohistochemical and genetic analyses of the EGFR and HER2 signaling pathways in salivary gland carcinomas. *Virchows Archiv* 461 (3) : 271-82, 2012
- 4) Dobashi, Y., Goto, A., Kimura, M., Nakano, T. Review Article : Molecularly Targeted Therapy : Past, Present and Future. *Chemotherapy* 1 : 105, 2012.
- 5) Endo M, Yamamoto H, Setsu N, Kohashi K, Takahashi Y, Ishii T, Iida K, Matsumoto Y, Hakozaiki M, Aoki M, Iwasaki H, Dobashi Y, Nishiyama K, Iwamoto Y, Oda Y. Prognostic Significance of AKT/mTOR and MAPK Pathways and Antitumor Effect of mTOR Inhibitor in NF1-Related and Sporadic Malignant Peripheral Nerve Sheath Tumors. *Clin. Cancer Res.* 15 ; 19 (2) : 450-61, 2013.

## ■ 病理部

### ①学会発表

- 1) 鈴木潮人、土橋 洋、湊 宏、田尻亮輔、大井章史. 唾液腺癌におけるEGFR/HER2-Akt-mTORシグナル伝達経路の解析. 第101回日本病理学会総会 2012年4月26日 東京 (日本病理学会誌、101 (1) : 245, 2012)
- 2) 大井章史、田尻亮輔、鈴木潮人、北村星子、池田博子、土橋 洋. Multiplex ligation-dependent probe amplification法を用いた乳癌の遺伝子増幅の検討. 第101回日本病理学会総会 2012年4月27日 東京 (日本病理学会誌、101 (1) : 253, 2012)
- 3) 土橋 洋、蛭田昌宏、梶村春彦、鈴木潮人、山田茂樹、大井章史. ヒト肺癌におけるAKT遺伝子

## 総合医学2

## ■ 一般・消化器外科

## 原著論文

- 1) Kano Y, Soda K, Konishi F : Suppression of LFA-1 Expression by spermine is associated with enhanced methylation of ITGAL, the LFA-1 promoter area. PLoS ONE 8 (2) : e56056. doi : 10.1371/journal.pone.0056056

## 学会発表

- 1) 早田邦康. ポリアミンによる健康長寿—老化および発癌抑制—. 日本ポリアミン学会・第4回年会主催サテライトシンポジウム. 2013.2.6 浜松町講演. 浜松町.
- 2) 渡部文昭, 野田弘志, 野首光弘, 竹村真一, 横山智, 野沢佳宏, 力山敏樹 : 広範囲浸潤胆管癌の1例. 第19回東京胆道懇話会, 2013.2.8, 東京 口演
- 3) 椎名美知子, 茂木さつき, 滝沢友里, 廣澤 恵, 三ツ橋美幸, 菅原晴美, 長谷部忠史, 栗原那苗, 篠原未来, 中島けい子, 中川温美, 笹岡庸子, 浅部伸一, 大塚美恵子, 早田邦康. 妊娠中の難治性再発性膵炎の栄養管理—症例報告—. 第28回日本静脈経腸栄養学会学術集会. 2013.2.21-22 金沢. 口演
- 4) 椎名美知子, 茂木さつき, 滝沢友里, 廣澤 恵, 三ツ橋美幸, 菅原晴美, 長谷部忠史, 栗原那苗, 篠原未来, 中島けい子, 中川温美, 笹岡庸子, 浅部伸一, 大塚美恵子, 早田邦康. 複数回の消化管手術によって発症した低栄養患者の治療経験. 第28回日本静脈経腸栄養学会学術集会. 2013.2.21-22 金沢. 口演
- 5) 小櫃 保, 清崎浩一, 齊藤正昭, 千葉文博, 高田理, 力山敏樹 : 80歳以上の胃癌切除症例に対するリスク評価の検討. 第85回日本胃癌学会総会, 2013.2.27-3.1, 大阪 ワークショップ
- 6) 亀井美里, 清崎浩一, 尾留川莉沙, 藤原恵美, 金沢千恵子, 田卷佐和子, 小櫃 保, 齊藤正昭, 千葉文博, 高田 理, 力山敏樹 : 胃癌手術における手術室看護師との術前合同カンファレンスの有用性について. 第85回日本胃癌学会総会, 2013.2.27-3.1, 大阪 ワークショップ
- 7) 清崎浩一, 田卷佐和子, 小櫃 保, 齊藤正昭, 千葉文博, 高田 理, 力山敏樹 : 当センターにおける胃癌チーム医療の現状と課題. 第85回日本胃癌学会総会, 2013.2.27-3.1, 大阪 ワークショップ

- 8) 田卷佐和子, 清崎浩一, 小櫃 保, 齊藤正昭, 千葉文博, 高田 理, 力山敏樹 : 胃全摘出後の早期経口摂取の可能性. 第85回日本胃癌学会総会, 2013.2.27-3.1, 大阪 口演
- 9) 高田 理, 清崎浩一, 齊藤正昭, 千葉文博, 小櫃 保, 力山敏樹 : 切除不能進行胃癌におけるステント治療の役割. 第85回日本胃癌学会総会, 2013.2.27-3.1, 大阪 口演
- 10) 齊藤正昭, 清崎浩一, 小櫃 保, 千葉文博, 高田理, 力山敏樹 : ステージIV胃癌に対する導入化学療法の手術介入の有用性. 第85回日本胃癌学会総会, 2013.2.27-3.1, 大阪 ポスター
- 11) 渡部文昭, 野田弘志, 野首光弘, 竹村真一, 横山智, 野沢佳宏, 力山敏樹 : 胆管腺内分泌癌の1例. 第58回日本消化器画像診断研究会, 2013.3.1-2, 沖縄 口演
- 12) 阿部 郁, 野田弘志, 渡部文昭, 野首光弘, 力山敏樹 : 原発巣切除29年後の転移再発を疑った肝内発生GISTの1例. 第58回日本消化器画像診断研究会, 2013.3.1-2, 沖縄 口演
- 13) 桑原明菜, 野田弘志, 渡部文昭, 土橋 洋, 山田茂樹, 長谷川 匡, 力山敏樹 : 術後10年目に肝転移再発した大腿部原発平滑筋肉腫の一例. 第58回日本消化器画像診断研究会, 2013.3.1-2, 沖縄 口演

## その他

- 1) 力山敏樹 : 第2回院内ハンズオンセミナー, 2013.2.9 さいたま医療センター主催
- 2) 力山敏樹 : 大腸がん化学療法におけるチーム医療. 大腸がん座談会, 2013.2.18, さいたま
- 3) 力山敏樹 : 肝門部胆管癌のCT診断と外科治療, 第421回八戸外科集談会, 2013.2.22, 八戸 講演
- 4) 早田邦康 : 納豆と健康長寿. 第18回全国納豆鑑評会, 2013.2.22 宇都宮 講演
- 5) 力山敏樹 : 一転移性肝癌の治療戦略. 大腸がん化学療法セミナー, 2013.2.26, 上尾 講演

## ■ 呼吸器外科

## (総説)

- 1) 金井義彦, 遠藤俊輔, 中野智之 上大静脈症候群 医学のあゆみ 別冊 呼吸器疾患 state of arts Ver.6 2013 (in press)

## (学会発表)

- 1) 中野智之ほか : 肺底部慢性膿胸合併肺尖部アスペルギローマの一手術例 第1回埼玉呼吸器外科ビ

デオカンファレンス 2月28日 (川越)

- 2) 中野智之ほか：気管支閉鎖を伴ったサルコイドーシスの1例 第144回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 3月9日 (東京)
- 3) 坪井基浩、峯岸健太郎ほか：#11リンパ節陽性の左上葉肺癌に対する肺動脈形成を伴う左上葉管状切除術での工夫 第161回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 3月9日 (高崎)
- 4) 野村基子、坪地宏嘉ほか：限局性胸膜中皮腫の一例 第166回日本肺癌学会関東支部会 3月16日 (東京)

(講演)

- 1) 遠藤俊輔 Dokyo Doctors Club 2月23日 東京 講演 肺癌治療の現場と展望
- 2) 遠藤俊輔 ロボット低侵襲外科研究会 3月16日 金沢 講演 胸腔鏡下肺葉切除術の基礎と技術

■ 心臓血管外科

☆原著論文

- 1) Hori D, Yuri K, Noguchi K, Nomura Y, Tanaka H : Case Report : Successful Endovascular Treatment of Saccular Thoracic Aneurysm with "Shaggy Aorta". Ann Thorac Cardiovasc Surg Vol.18, No.6 p536-539 2012
- 2) Shiraishi M, Kimura C, Yamaguchi A, Adachi H : Secondary Aortoenteric Fistula : A Case Report of Acute Aortic Occlusion Following Cellulitis. Ann Thorac Cardiovasc Surg Vol.18, No.6 p557-559 2012
- 3) Shiraishi M, Yamaguchi A, Adachi H : Successful Surgical Repair of the Parachute Mitral Valve with Mitral Valve Regurgitation. Ann Thorac Cardiovasc Surg Vol.18, No.6 p569-572 2012

以下の「原著論文」業績は、今までの「研究だより」未掲載のものです。

- 4) Noguchi K, Hori D, Nomura Y, Tanaka H : Renal Cell Carcinoma with Tumor-Thrombus Extension into the Right Ventricle. Annals of Vascular Diseases : 2012 ; 5 : p376-380
- 5) Shiraishi M, Kimura C, Takeuchi T, Muramatsu K : Late-stage nonanastomotic rupture of axillo-bifemoral bypass graft. Ann Thorac Cardiovasc Surg. 18 : p481-484, 2012.
- 6) Shiraishi M, Yamaguchi A, Morita H, Adachi

H : Successful surgical repair of the pulmonary artery aneurysm and regurgitation. Ann Thorac Cardiovasc Surg. 18 : p491-493, 2012.

- 7) Itagaki R, Tanaka M, Ogino H, Ikegaya Y, Shimada N, Katayama I, Itoh S : Two-staged hybrid surgery for an extended thoracic aortic aneurysm with Kommerell's diverticulum : case report. Kyobu Geka. 2012 Sep ; 65 (10) : p868-872

☆学会発表

- 1) 荒川 衛, 武藤能明, 西村 隆, 岸本祐一郎, 梅木昭秀, 安藤政彦, 藤井 豊, 住倉博仁, 大沼健太郎, 熱田祐一, 東郷好美, 水野敏秀, 築谷朋典, 許 俊鋭, 安達秀雄, 巽 英介 : EVAHEARTを用いた自己心拍同期回転数制御システムの心拍数増加に伴う心筋酸素消費量の変化. 第50回日本人工臓器学会大会予稿集 人工臓器Vol.41 No.2 2012 p211 第50回日本人工臓器学会大会 2012.11.22-24 福岡
- 2) 山口敦司, 安達晃一, 由利康一, 木村知恵里, 田村 敦, 堀 大治郎, 佐藤哲也, 野中崇央, 西智史, 吉崎隆道, 中野光規, 安達秀雄 : 虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する外科治療. 日本冠疾患学会学術集会雑誌 Vol.18, No.4 2012 p336 第26回日本冠疾患学会学術集会 2012.12.13-15 都内
- 3) 木村知恵里, 山口敦司, 安達晃一, 由利康一, 松本春信, 木村直行, 田村 敦, 安達秀雄 : 冠動脈バイパス術後脳梗塞に対する予防策と課題. 日本冠疾患学会学術集会雑誌 Vol.18, No.4 2012 p329 第26回日本冠疾患学会学術集会 2012.12.13-15 都内
- 4) 西 智史, 小林祐介, 中野光規, 竹内太郎, 竹内紘子, 吉崎隆道, 野中崇央, 田島 泰, 堀 大治郎, 田村 敦, 長野博司, 木村知恵里, 松本春信, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 藤原隆行, 津久井卓伯, 中村智弘, 安達秀雄. 大腿骨骨折に伴う血管外傷の1手術例. 第154回血管外科症例検討会 2013.1.12 済生会横浜市立東部病院
- 5) 安達晃一, 山口敦司, 由利康一, 松本春信, 木村知恵里, 田村 敦, 長野博司, 堀 大治郎, 野中崇央, 安達秀雄 : 心筋梗塞後Blowout型左室破裂に対して心臓マッサージを施行し肝破裂を来した一救命例. 第27回心臓血管外科ウインターセミナー学術集会プログラム抄録集 p68 第27回心臓血管外科ウインターセミナー学術集会 2013.1.23-25 田沢湖高原 プラザホテル山麓荘
- 6) 由利康一, 堀 大治郎, 長野博司, 野中崇央, 西

- 智史, 山口敦司, 安達秀雄: コイル縫着開窓型ステントグラフトを施行した一例. 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会プログラム抄録集 p60 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会 2013.1.23-25 田沢湖高原 プラザホテル山麓荘
- 7) 森田英幹, 白杉岳洋, 木村直行: ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) を有するMS, 左房内血栓症症例に対して, ヘパリンを使用してMVRを施行した1例. 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会プログラム抄録集 p65 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会 2013.1.23-25 田沢湖高原 プラザホテル山麓荘
- 8) 西 智史, 由利康一, 小林祐介, 中野光規, 吉崎隆道, 田島 泰, 野中崇央, 堀 大治郎, 長野博司, 田村 敦, 木村知恵里, 安達晃一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄: エントリー不明のB型解離破裂に対し胸部ステントグラフト内挿術を行った1例. 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会プログラム抄録集 p61 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会 2013.1.23-25 田沢湖高原 プラザホテル山麓荘
- 9) 白杉岳洋, 森田英幹, 木村直行, 由利康一, 安達秀雄: 下行大動脈置換術後の上行一遠位弓部大動脈瘤に対して二期的に弓部置換術、ステントグラフト内挿術を施行した一例. 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会プログラム抄録集 p34 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会 2013.1.23-25 田沢湖高原 プラザホテル山麓荘
- 10) 中野光規, 堀 大治郎, 田村 敦, 長野博司, 木村知恵里, 松本春信, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 造影剤アレルギーのためにIVUSガイドにTEVARを施行した人工血管吻合部仮性瘤の1例. 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会プログラム抄録集 p62 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会 2013.1.23-25 田沢湖高原 プラザホテル山麓荘
- 11) 亀田康也, 小日向聡行, 佐藤健一郎, 又吉盛博: 当院での人工心肺業務の立ち上げ. 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会プログラム抄録集 p77 第27回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会 2013.1.23-25 田沢湖高原 プラザホテル山麓荘
- 12) 西 智史, 松本春信, 小林祐介, 中野光規, 竹内太郎, 竹内紘子, 吉崎隆道, 野中崇央, 田島 泰, 堀 大治郎, 長野博司, 田村 敦, 木村知恵里, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 治療に苦慮しているバージャー病の1例. 第155回心臓血管外科症例検討会 2013.2.16 国際医療福祉大学三田病院
- 13) 山口敦司, 安達晃一, 松本春信, 由利康一, 木村直行, 木村知恵里, 田村 敦, 堀 大治郎, 武部学, 佐藤哲也, 野中崇央, 西 智史, 吉崎隆道, 中野光規, 安達秀雄: 非保護左主幹部病変に対する血行再建術の検討. 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol: 42, supplement February. 2013; p134 第43回日本心臓血管外科学会学術総会 2013.2.25-27 台場(東京)
- 14) 山口敦司, 安達晃一, 松本春信, 由利康一, 木村直行, 木村知恵里, 田村 敦, 堀 大治郎, 武部学, 佐藤哲也, 野中崇央, 西 智史, 吉崎隆道, 中野光規, 安達秀雄: 虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁輪縫術. 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol: 42, supplement February. 2013; p249 第43回日本心臓血管外科学会学術総会 2013.2.25-27 台場(東京)
- 15) 松本春信, 西 智史, 堀 大治郎, 田村 敦, 木村知恵里, 木村直行, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 北岡 斎, 鈴木 潤, 出口順夫, 佐藤 紀, 安達秀雄: 膝窩動脈瘤に対するsequential sural artery bypass. 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol: 42, supplement February. 2013; p410 第43回日本心臓血管外科学会学術総会 2013.2.25-27 台場(東京)
- 16) 西 智史, 松本春信, 中野光規, 竹内太郎, 吉崎隆道, 佐藤哲也, 野中崇央, 堀 大治郎, 田村 敦, 木村知恵里, 木村直行, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 血管ペーチェット病の3例. 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol: 42, supplement February. 2013; p420 第43回日本心臓血管外科学会学術総会 2013.2.25-27 台場(東京)
- 17) 木村直行, 武部 学, 吉崎隆道, 中野光規, 佐藤哲也, 西 智史, 野中崇央, 堀 大治郎, 田村 敦, 木村知恵里, 安達晃一, 由利康一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄: 超高齢者(80歳以上)の急性A型解離症例に対する手術成績. 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol: 42, supplement February. 2013; p396 第43回日本心臓血管外科学会学術総会 2013.2.25-27 台場(東京)
- 18) 荒川 衛, 山口敦司, 岡村 誉, 安達晃一, 由利康一, 木村直行, 木村知恵里, 田村 敦, 安達秀雄: SYNTAX scoreを用いたDES発売前後での冠動脈バイパス手術の適応. 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol: 42, supplement February. 2013;

p312 第43回日本心臓血管外科学会学術総会  
2013.2.25-27 台場(東京)

- 19) 堀 大治郎, 由利康一, 西 智史, 長野博司, 田村 敦, 木村知恵里, 木村直行, 松本春信, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: EVAR後のType2エンドリークについての検討. 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol: 42, supplement February. 2013: p295 第43回日本心臓血管外科学会学術総会 2013.2.25-27 台場(東京)

以下の「学会発表」業績は、今までの「研究だより」未掲載のものです。

- 20) 松本春信, 山本瑛介, 北岡 斎, 鈴木 潤, 出口順夫, 佐藤 紀: 2度にわたる腓腹動脈バイパスにより救肢し得た重症虚血肢の1例. PAM (Peripheral Artery Surgical Meeting) in Akita 2012.4.18 秋田
- 21) 松本春信, 進士弥央, 藤森智成, 田巻佐和子, 中野光規, 吉崎隆道, 西 智史, 野中崇央, 佐藤哲也, 田村 敦, 木村知恵里, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 腓腹動脈への血流を温存した膝窩動脈瘤の1手術例. 第28回埼玉血管外科懇話会 2012.9.28 ソニックシティ大宮
- 22) 田中正史, 片山郁雄, 伊藤 智, 嶋田直洋, 橋本和憲, 大城規和, 白水御代: 長期透析患者の高度僧帽弁輪石灰化病変に対する僧帽弁置換術の工夫~CUSAによる石灰化除去とTranslocation MVR. 第9回腎と心血管障害研究会 (Cardio-Renal Conference) 2012.7.22 品川
- 23) 田中正史, 橋本和憲, 片山郁雄, 伊藤 智, 嶋田直洋, 大城規和, 白水御代: 解剖学的除外基準によりTAVI臨床試験不適格となりSurgical AVRを施行した大動脈弁狭窄症症例の手術成績. General Thoracic and Cardiovascular Surgery Volume 60・Supplement 2012: 第65回日本胸部外科学会定期学術集会 2012.10.17-20 福岡国際会議場
- 24) 森田英幹, 木村直行, 田村 敦, 木村知恵里, 由利康一, 安達晃一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄. DVR後遅発性に発症した悪性高熱に対し, PCPSを装着して救命した1例. General Thoracic and Cardiovascular Surgery Volume 60・Supplement 2012: p603. 第65回日本胸部外科学会定期学術集会 2012.10.17-20 福岡国際会議場
- 25) Itoh S, Sakakura K, Kimura N, Tanaka M, Kubo N, Ako J, Yamaguchi A, Momomura S, Adachi H. Long-Term Outcomes in Acute Aortic

Dissection (AAD) Comparison of postoperative Type A AAD with Type B AAD according to Residual False Lumen. Circulation Journal Vol.76 Suppl.1. 2012: p141 第76回日本循環器学会学術集会 2012.3.16-18 (福岡)

- 26) 荒川 衛, 武輪能明, 西村 隆, 梅木昭秀, 安藤政彦, 岸本祐一郎, 山崎健二, 許 俊鋭, 安達秀雄, 巽 英介: Bridge to recoveryを目指した定常流型LVADによる心拍同期回転数制御システムの開発. 第40回 人工心臓と補助循環懇話会 2012.2.17-18. クアージュ由布院
- 27) 荒川 衛, 岸本祐一郎, 武輪能明, 西村 隆, 梅木 昭, 安藤 政, 藤井 豊, 住倉博仁, 大沼健太郎, 東郷好美, 熱田祐一, 水野敏秀, 築谷朋典, 許 俊鋭, 安達秀雄, 巽 英介: 定常流型補助人工心臓を用いた自己心拍同期回転数制御システムの合併症予防効果の検討. 日本定常流ポンプ研究会2012 2012.11.22 アクロス福岡
- 28) Arakawa M, Nishimura T, Takewa Y, Kishimoto Y, Umeki A, Ando M, Fujii Y, Kyo S, Adachi H, Tatsumi E.: The correcting ventricular septum contraction by continuous-flow Left Ventricular Assist Device with the novel controller decreased systolic rotational speed. 58<sup>th</sup> ASAIO annual meeting, San Francisco Fairmont Hotel, June 13-16, 2012
- 29) Arakawa M, Takewa Y, Nishimura T, Umeki A, Ando M, Kishimoto Y, Adachi H, Tatsumi E.: Alternation of LV preload by continuous-flow LVAD with Native Heart Load Control System (NHLCS) in chronic heart failure model. 58<sup>th</sup> ASAIO annual meeting, San Francisco Fairmont Hotel, June 13-16, 2012
- 30) Arakawa M, Takewa Y, Nishimura T, Umeki A, Ando M, Kishimoto Y, Mizuno T, Tsukiya T, Kyo S, Adachi H, Tatsumi E.: Optimization of the coronary flow by a novel cardiac cycle-synchronized rotation control mode in a continuous-flow LVAD in chronic heart failure model. 39<sup>th</sup> ESAO Congress Academy of music and theatre Rostock September 26th-29th, 2012
- 31) Arakawa M, Takewa Y, Nishimura T, Kishimoto Y, Umeki A, Ando M, Kyo S, Adachi H, Tatsumi E.: Long time pulsatile support with a rotary LVAD by newly developed electrocardiogram-synchronized rotational speed control mode. 20<sup>th</sup> ISRBP Congress, Grand Cevahir Hotel, 20-22 September, 2012, Istanbul, Turkey

- 32) 橋本和憲, 田中正史, 片山郁雄, 伊藤 智, 嶋田直洋, 板垣 翔: 大動脈炎症候群による下行大動脈狭窄に対し上行大動脈—腹部大動脈バイパス術を施行した一例. 第158回日本胸部外科学会関東甲信越地方会抄録集: P7. 第158回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2012.3.3 都市センターホテル

#### ☆その他

- 1) 安達秀雄 講演: 急性A型大動脈解離術後の遠隔成績: 第一回大動脈解離シンポジウム 2013.2.2 ローズホテル横浜

以下の「その他」業績は、今までの「研究だより」未掲載のものです。

- 2) 山口敦司 講演: 虚血性心筋症・僧帽弁閉鎖不全症に対する外科治療 第26回 赤城循環器フォーラム (2012.1.28 前橋ロイヤルホテル)
- 3) 田中正史 講演: 大動脈センターチーム医療について. 第20回 鎌倉循環器フォーラム 2012.6.26 横浜
- 4) Masashi Tanaka 講演: Mitral Valve Replacement using Teflon collared mechanical prosthesis for a dialysis patient with severe mitral annular calcification. Japan-Singapore interactive scientific session. 2012.8.25 Singapore
- 5) 伊藤 智 博士(医学): 学位論文 移植心急性拒絶応答におけるインターロイキン17の機能解析に関する研究. 2012.8.14 自治医科大学
- 6) 木村直行 博士(医学): 学位論文 心臓移植拒絶反応におけるインターロイキン16の免疫応答に関する検討. 2012.8.14 自治医科大学
- 7) Arakawa Mamoru 賞罰: ASAIO Y Nose' International Fellowship, Alternation of LV preload by continuous-flow LVAD with Native Heart Load Control System (NHLCS) in chronic heart failure model, 58<sup>th</sup> ASAIO 2012
- 8) 荒川 衛 賞罰: 平成2012年度JSAO Grant 右心補助を目指した定常流型左室補助人工心臓による心拍同期回転数制御システムの開発

#### ☆著書 総説

- 1) 安達秀雄: 13 動脈疾患 大動脈の腫瘍. 今日の循環器疾患治療指針 第3版 編集: 井上 博, 許 俊鋭, 檜垣實男, 代田浩之, 筒井裕之. 医学書院 p724-726, 2013
- 2) 安達秀雄: 13 動脈疾患 大動脈の外傷. 今日の循環器疾患治療指針 第3版 編集: 井上 博,

許 俊鋭, 檜垣實男, 代田浩之, 筒井裕之. 医学書院 p726-727, 2013

以下の「著書総説」業績は、今までの「研究だより」未掲載のものです。

- 3) 山口敦司, 村山隆紀: 緊急手術の適応基準の Up to Date 急性冠症候群 麻酔 2012; 61: p932-943
- 4) 山口敦司: 討論2: 虚血性心筋症に対する外科治療 胸部外科 2012; 65: p95-97
- 5) 山口敦司: 周術期管理の Knack & Pitfalls 3. 肝不全合併症例の周術期管理 高本真一, 許 俊鋭(編) 心不全外科治療の要点と盲点. 東京, 文光堂, 2012, p101-105
- 6) 野口権一郎: 胸骨正中切開後の気管切開の至適時期. SICU Pearls 外科ICUで困った時に開く本 讚井将満 p318-319

## ■ 脳神経外科

### (1) 学会発表

- 1) 石川眞実, 大澤祥, 伊古田雅史, 山黒友丘, 加持春菜, 海老原彰, 草鹿元, 田中裕一: 外眼筋麻痺で発症した内頸動脈海綿状脈洞部動脈瘤の手術. 第9回埼玉脳外科シンポジウム, 2013.1/25, さいたま
- 2) M Ishikawa, M Kajimura, T Morikawa, T Nakamura, H Kamochi, A Ebihara, G Kusaka, Y Tanaka, M Suematsu: Cerebral arteriolar responses immediately after MCAO and reperfusion. 第38回日本微小循環学会. 2013.2/8, 東京
- 3) 石川眞実, 加持春菜, 海老原彰, 草鹿元, 田中裕一, 森川隆之, 中村智実, 梶村真弓, 末松誠: 脳主幹動脈閉塞時の脳循環代謝予備能の解析. 第38回日本脳卒中学会総会, 2013.3/21-23, 東京
- 4) 石川眞実, 伊古田雅史, 山黒友丘, 加持春菜, 海老原彰, 草鹿元, 田中裕一: くも膜下出血直後の脳微小循環 GFAP-GFPマウスを用いた2光子励起生体蛍光顕微鏡による観察. 第42回日本脳卒中の外科学会, 2013.3/21-23, 東京
- 5) 海老原彰, 田中裕一, 伊古田雅史, 山黒友丘, 加持春菜, 草鹿元, 石川眞実, 紺野武彦, 渡辺英寿: 主成分分析を用いた酸素吸入光トポグラフィーによる脳虚血側評価. 第38回日本脳卒中学会総会, 2013.3/21-23, 東京
- 6) 田中裕一, 伊古田雅史, 山黒友丘, 加持春菜, 海老原彰, 草鹿元, 石川眞実, 大谷啓介, 紺野武彦, 渡辺英寿: 酸素吸入法を用いた光トポグラ



フィーによるくも膜下出血急性期の脳虚血診断(脳血管攣縮の早期診断). 第29回スパズムシンポジウム, 2013,3/21-23, 東京

## ■ 耳鼻咽喉科

### <原著論文>

- 1) Shinnabe, A., Hara, M., Hasegawa, M., Matsuzawa, S., Kanazawa, H., Yoshida, N., and Iino, Y.: A Comparison of patterns of Disease Extension in Keratosis Obturans and External Auditory Canal Cholesteatoma. *Otol Neurotol*, 34 (1): 91-94, 2013.

### <学会発表>

- 1) 松澤真吾, 原 真理子, 長谷川雅世, 新鍋晶浩, 金沢弘美, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: 当科で経験したIgG4関連疾患. 第23回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会, 2013年1月24-25日, pp130, 鹿児島.
- 2) 長谷川雅世, 松澤真吾, 金沢弘美, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: 慢性下顎根尖性歯周炎による側頭部膿瘍の一例. 第23回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会, 2013年1月24-25日, pp137, 鹿児島.
- 3) 飯野ゆき子: 基調講演「上気道における好酸球性炎症性疾患のエビデンスと今後の展望」第31回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 2013年2月7-9日, pp69, 倉敷.
- 4) 金沢弘美, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: 好酸球性中耳炎における憎悪因子について. 第31回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 2013年2月7-9日, pp142, 倉敷.

### <著書・総説>

- 1) 飯野ゆき子: 【特集】目と耳の老化と老年病—高齢者の耳の手術. 学術と動向, p64-69, 2012年12月号.
- 2) 飯野ゆき子: 特集—よくわかる鼓室形成術—手術手技のコツ—内耳瘻孔の処理. *JOHNS29* (2): 173-76, 2013.
- 3) 新鍋晶浩: 特集—よくわかる鼓室形成術—特別な症例に対する鼓室形成術—高齢者. *JOHNS29* (2): 231-35, 2013.

### <その他>

- 1) 飯野ゆき子: 小児における中耳炎のトピックス—日常診療における診断のポイントから手術適応ま

で—(演者). Allergic Rhinitis Forum in Tokyo, 東京, 2012年12月9日.

- 2) 飯野ゆき子: 特別講演『気管支喘息に合併する難治性副鼻腔炎・中耳炎』第39回北陸アレルギー研究会, 金沢市, 2012年12月15日.
- 3) 飯野ゆき子: 特別講演『成人の難治性中耳炎の臨床』第13回耳疾患懇話会. 2013年1月17日, 川崎.
- 4) 飯野ゆき子: 特別講演2「小児中耳炎の最近の知見」第14回札幌マクロライド研究会. 2013年1月19日, 札幌.
- 5) 飯野ゆき子: みみよりの“耳”の話. 自治医大さいたま医療センターだより第34号 (3) 巻頭言.

## ■ 産婦人科

### 学会発表

- 1) 近澤研郎, 根津幸穂, 深津優子, 齋藤将也, 芝田恵, 佐々木由梨, 堀内 功, 満下淳地, 今野 良. 腹腔鏡手術で治療した臍および腹腔内に発生した子宮内膜症の1例と臍内膜症の2例の症例報告. 第82回埼玉産科婦人科学会 埼玉県産婦人科医会平成24年度後期学術集会, さいたま, 2012年11月10日.
- 2) 深津優子, 堀内 功, 齋藤将也, 近澤研郎, 芝田恵, 佐々木由梨, 根津幸穂, 満下淳地, 今野 良. 子宮頸癌I b1期に対し妊孕性温存療法(円錐切除術+骨盤リンパ節郭清+術後化学療法)後に妊娠分娩に至った症例. 第82回埼玉産科婦人科学会 埼玉県産婦人科医会平成24年度後期学術集会, さいたま, 2012年11月10日.
- 3) 今野 良. 【特別講演】子宮頸がん検診の現在と将来. 第27回日本臨床細胞学会奈良県支部総会・学術集会, 奈良, 2012年12月1日.
- 4) 根津幸穂, 今野 良. 【ワークショップ】子宮内膜症をより改善させるために—n-3脂肪酸摂取との関連—. 第34回日本エンドメトリオーシス学会, 栃木, 2013年1月18日~19日.

### 著書・総説

- 1) 今野 良. 子宮頸がん予防—世界で取り組む検診とHPVワクチンの普及. 現代性教育研究ジャーナル, 18: 1-6, 2012.
- 2) 今野 良(共著). 研修ノートNo.90 婦人科外来診療のための細胞診・組織診のすべて. 2012. 日本産婦人科医会研修委員会
- 3) 今野 良. 子宮頸がん検診とHPVワクチン. 癌と化学療法, 40 (2): 165-169, 2013.
- 4) 今野 良. HPV (ヒトパピローマウイルス) ワク

チン. 化学療法の領域, 29 (2) : 94-102, 2013.

#### その他

- 1) 満下淳地, 今野 良. 変性子宮筋腫の画像診断. 第20回さいたま新都心産婦人科懇話会, さいたま, 2013年2月14日.
- 2) 今野 良. 【特別講演】検診とワクチンで子宮頸がんを撲滅する. 第21回埼玉県子宮がん検診セミナー, さいたま, 2012年12月15日.
- 3) 根津幸穂, 今野 良. 月経痛はなぜ起こる～原因と治療法について～. 女性のための市民公開セミナー, さいたま, 2013年2月21日.
- 4) 佐々木由梨, 今野 良. 今からできる、子宮頸がんから自分を守る3つの秘訣. 女性のための市民公開セミナー, さいたま, 2013年2月21日.

## ■ 皮膚科

### 【学会発表】

- 1) 飯田絵理, 渡邊萌理, 塚原理恵子, 中村考伸, 梅本尚可, 中村哲史, 山田朋子, 出光俊郎: 外陰ジストロフィーを伴った外陰部結合織母斑 (Nevus elasticus) の1例. 第64回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 広島市, 10月26日, 2012年.
- 2) 飯田絵理, 渡邊萌理, 塚原理恵子, 中村考伸, 梅本尚可, 中村哲史, 山田朋子, 出光俊郎: クロラムフェニコール膾錠によるsystemic contact dermatitisの1例. 第64回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 広島市, 10月26日, 2012年.
- 3) 飯田絵理, 渡邊萌理, 塚原理恵子, 中村考伸, 中村哲史, 山田朋子, 出光俊郎: インフリキシマブ投与により顕在化したサルコイドーシスの1例. 第5回生物学的製剤治療研究会, さいたま市, 11月18日, 2012年.
- 4) 飯田絵理, 渡邊萌理, 塚原理恵子, 中村考伸, 加倉井真樹, 梅本尚可, 中村哲史, 山田朋子, 出光俊郎: Transient Acantholytic Dermatitisの1例. 第76回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京, 2月16日, 2013年.
- 5) 大量ガンマグロブリン点滴治療 (IVIg) を併用した天疱瘡の2例; 好中球減少と血小板減少をきたした尋常性天疱瘡 (PV) と、妊娠・出産を行い得た落葉状天疱瘡 (PF). 中村哲史 (自治医科大学附属さいたま医療センター皮膚科)、渡邊萌理、塚原理恵子、中村考伸、飯田絵理、山田朋子、梅本尚可、出光俊郎、第50回埼玉県医学会総会、2003年2月24日、さいたま市

### 【論文】

- 1) 飯田絵理, 出光俊郎: 直腸癌を合併した臀部クロストリジウム性ガス壊疽. Visual Dermatology 12 : 298-300, 2013.
- 2) 腹部の皮下腫瘍を契機に診断された絨毛癌の1例 小池 裕美子 (自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科), 遠藤真沙子, 梅本尚可, 正木真澄, 山田朋子, 飯田絵理, 平塚裕一郎, 加倉井真樹, 堂本隆志, 柳林 聡, 成田多恵, 根津幸穂, 土橋洋, 中村哲史, 出光俊郎 Skin Surgery 21巻3号 Page132-135 (2012.10)
- 3) 【掌蹠膿疱症の治療-あの手この手】 (Part3) 病因と病態 (topics 03) TNF- $\alpha$  阻害薬投与中に生じる掌蹠膿疱症様皮疹 高橋英俊 (旭川医科大学 皮膚科), 林 健太郎, 西 薫, 中村哲史, 橋本喜夫, 水元俊裕, 飯塚 一 Source : Visual Dermatology 11巻10号 Page1064-1065 (2012.09)
- 4) クレアチンキナーゼの異常高値を認めた皮膚筋炎 西 薫 (旭川医科大学 皮膚科学教室), 中村哲史, 水元俊裕, 橋本喜夫, 飯塚 一 皮膚科の臨床 54巻7号 Page1042-1043 (2012.07) 論文種類: 原著論文/症例報告
- 5) Japanese patients with psoriasis and atopic dermatitis show distinct personality profiles. Takahashi H, Tsuji H, Honma M, Shibaki H, Nakamura S, Hashimoto Y, Takahashi M, Koike K, Takei A, Ishida-Yamamoto A, Iizuka H. J Dermatol. 2013 Feb 18.

## ■ 麻酔科

### 〈原著論文〉

- 1) Dislocation of a detached electrode from a pacing Swan-Ganz catheter in the hepatic vasculature. Aoyama H, Sunagawa H, Otsuka Y, Iizuka Y, Asaka K, Murayama T. J Anesth. 2012 Oct 14. [Epub ahead of print] No abstract available. PMID : 23064680 [PubMed - as supplied by publisher]

## ■ 歯科口腔外科

### 学会発表

- 1) 再発を繰り返した唾石症の1例 中山竜司, 神部芳則, 篠崎泰久, 岡田成生, 上野泰宏, 鹿志村圭, 大橋一之, 土屋欣之, 伊藤弘人, 野口忠秀, 小佐野仁志, 草間幹夫 第194回(社)日本口腔外科学会関東地方会 (2012.12.8)

- 2) 塩酸セルトラリン (ジェイゾロフト®) が原因と考えられた口蓋潰瘍の1例 井岡友梨, 磯田智代, 中井雄一郎, 岡本瑠珠, 小佐野仁志, 草間幹夫 第194回(社)日本口腔外科学会関東地方会 (2012.12.8)
- 3) 当科における同時性重複癌症例の臨床的検討 中山竜司, 神部芳則, 篠崎泰久, 岡田成生, 上野泰宏, 鹿志村圭, 早坂純一, 土屋欣之, 伊藤弘人, 野口忠秀, 小佐野仁志, 草間幹夫 第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 (2013.1/24.25)

#### 原著論文

- 1) 生検後急速な増大を見た肺癌の下顎歯肉転移と考えられた1例 磯田智代, 岡本瑠珠, 中井雄一郎, 小佐野仁志, 草間幹夫 栃木県歯科医学会誌第64:3-8、2012
- 2) 摘出開窓の反復処置で下顎区域切除が回避できたエナメル上皮腫の1例 小川あゆみ, 岡田成生, 佐瀬美和子, 井岡友梨, 中山竜司, 池田 薫, 伊藤弘人, 野口忠秀, 神部芳則, 草間幹夫 栃木県歯科医学会誌第64:9-12、2012
- 3) ニコランジルによる口腔潰瘍と考えられた2例 杉浦康史, 中山竜司, 佐瀬美和子, 岡田成生, 井岡友梨, 大橋一之, 伊藤弘人, 野口忠秀, 神部芳則, 草間幹夫 栃木県歯科医学会誌第64:13-17、2012
- 4) 顎口腔領域悪性腫瘍の疼痛コントロールに関する検討 中山竜司, 丹波嘉一郎, 渡辺秀紀, 星 健太郎, 岡田成生, 山下雅子, 鹿志村圭, 伊藤弘人, 野口忠秀, 小佐野仁志, 神部芳則, 草間幹夫 日本口腔内科学会雑誌18 (2):52-56, 2012.12



## 編集後記

今回の発行にあたりましては、大変お忙しい中、百村センター長をはじめ多くの先生方から投稿いただきまして、ご協力ありがとうございました。

さて、春は花のたよりや、新たなことが始まる季節ではありますが、花粉症の季節でもあります。

今年は去年の3倍の花粉の量が飛散すると花粉情報より報告されています。そしてさらに、偏西風に乗って中国から飛来する大気汚染物質PM2.5の量が急増する恐れがあると言われております。それはスギ花粉の約10分の1の微小粒子で普通のマスクでは防げない、ぜんそくや気管支炎、肺がんの原因になるという指摘もあります。

予防としては、うがいやマスクの着用はもちろんのことですが、できるだけ外出をひかえること、室内の換気を自粛することだそうです。

春のおとずれに一喜一憂しているのではないのでしょうか。

(N)

自治医科大学附属さいたま医療センター  
研究だより 第35号

発行日 平成25年4月17日  
発行 自治医科大学附属さいたま医療センター  
発行責任者 センター長 百村 伸一  
編集 事務部 総務課  
BSL 宿舎・研修施設事務室  
〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847  
TEL. 048-647-2111  
FAX. 048-648-5166  
題字 川上 正舒 前センター長

印刷 第一印刷(株)